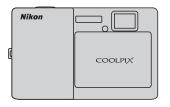
Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S70

クールピクスS70

使用説明書

Jp

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびPictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠**警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠**注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
保管注意	**ストラップが首に巻き付かないようにすること** **特に幼児、児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を使うこと** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。

保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること** **病院で使うときは病院の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター）を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX S70に対応しています。EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーを付けてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（本体充電ACアダプターについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（本体充電ACアダプターについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

目次

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S70をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

マーク	説明
✔	カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
💡	カメラを使用するときに、便利な情報を記載しています。
📎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
📖	関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDカードの両方に対応しています。SDカードをカメラにセットしているときは、SDカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録が行えます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。

ホログラムシール

- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故や故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードすることができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

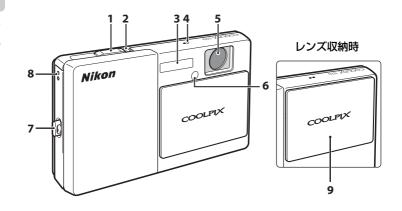
●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「HOME画面デザイン」の「マイフォト」（📖141）や「オープニング画面」の「撮影した画像」（📖142）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

各部の名称

カメラ本体

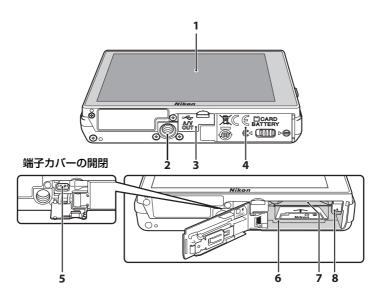
1	シャッターボタン 30	6	セルフタイマーランプ.......58、60 AF補助光.......................... 31、148
2	電源ランプ......... 19、21、131、149	7	ストラップ取り付け部................. 5
3	内蔵フラッシュ 62	8	スピーカー .... 108、125
4	マイク............................ 107、122	9	スライドカバー（電源スイッチ） 21
5	レンズ............................ 160、174		

シャッターボタンの基本操作

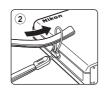
シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

半押しすると、
ピントと露出が固定

そのまま深く
押し込んで撮影

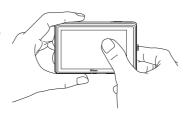
端子カバーの開閉

番号	名称	ページ
1	有機ELモニター（モニター）※/タッチパネル	6、8
2	三脚ネジ穴	
3	端子カバー	18、126、128、133
4	バッテリー/SDカードカバー	16、24
5	ケーブル接続端子	18、126、128、133
6	バッテリー室	16
7	SDカードスロット	24
8	バッテリーロックレバー	16、17

※本書ではモニターと表記する場合があります。

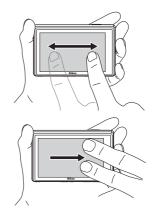
ストラップの取り付け方

タッチパネルの操作方法

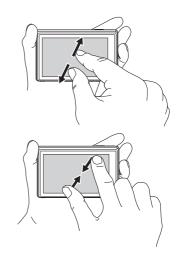
COOLPIX S70のモニターは、指で画面に触れて操作するタッチパネルになっています。以下のように画面に触れて操作します。

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。
アイコンや画像を選ぶときなどに使います。
画面をタッチしてシャッターをきることもできます（📖51）。

ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。
画像の再生時に、前後の画像を表示するときなどに使います。

2本の指でドラッグすると、よりはやく画像を送ることができます。

広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間隔を広げたり、つまむように狭めたりする動作です。
再生時に、画像を拡大/縮小するとき（📖91）、サムネイル表示（画像の一覧表示）にするとき（📖93）などに使います。

タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

モニターの自動ブーストについて

晴天の屋外などの明るい場所では、モニターを見やすくするため、自動的に画面が明るくなります（セットアップメニュー（📖139）の［**画面の明るさ**］（📖146）が［**4**］以下の場合）。

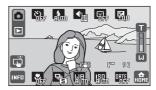
モニター/タッチパネルの主な表示と基本操作

アイコンと情報の表示について

INFOをタッチすると、以下のように画面に表示される情報が切り換わります。

撮影時

情報 OFF

情報 ON

記録可能コマ数などの情報や
設定アイコンを表示します。

再生時

情報 OFF

設定アイコン ON

再生画像と設定アイコンを表示します。

画像情報 ON

再生画像と画像情報、一部の設定アイコンを表示します。

撮影時（操作部）

以下のアイコンをタッチすると、設定の切り換えができます。

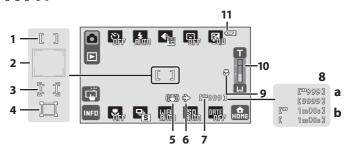
- 情報表示のON/OFF（□8）、撮影モードや設定状態などによって、操作できる項目や表示は異なります。

番号	内容
1	撮影モード ...26、37、38、60、122
2	再生モードへの切り換え 32
3	タッチAF/AE解除....................53
4	タッチシャッター....................51 タッチAF/AE...........................53 ターゲット追尾........................56
5	INFO 情報表示の切り換え 8
6	マクロモード※.........................67
7	シーンエフェクト調整スライダー..........................39
8	連写モード、BSS※..................68
9	WB ホワイトバランス※.................70
10	ISO ISO感度設定※ ....63、73
11	DATE デート写し込み※ 74
12	HOME HOME（ホーム）画面への移動.. 14
13	W 広角ズーム 29
14	T 望遠ズーム 29
15	露出補正※ 66
16	笑顔自動シャッター※............. 60
17	画像モード※ .... 64 動画設定※ 123
18	フラッシュモード※................. 62
19	セルフタイマー※ 58

※アイコンの下部には現在の設定情報が表示されます。

撮影時（その他の表示）

以下の表示は、AF(オートフォーカス)エリア、記録可能コマ数などを示しています。

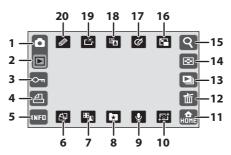
- 情報表示のON/OFF（□8）、撮影モードや設定状態などによって表示は異なります。

1	AFエリア 30
2	AFエリア（顔認識時）................ 30
3	AFエリア（タッチAF/AE時）.... 53
4	AFエリア（ターゲット追尾時）.... 56
5	手ブレ補正 147
6	日時未設定 .... 164 訪問先 143
7	内蔵メモリー表示.................... 27
8	a 記録可能コマ数（静止画）...... 27 b 記録可能時間（動画）........... 123
9	マクロ領域表示 67
10	ズーム表示 .... 29、67
11	バッテリーチェック 26

縦位置にしたときのモニター表示

カメラ本体を縦位置にすると、以下のようにアイコンの表示も縦位置用の向きに回転します。カメラを上向きや下向きにすると、適切な方向で表示できないことがあります。

再生時（操作部）

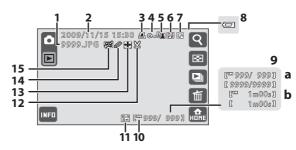
以下のアイコンをタッチすると、表示の切り換え、削除、編集などができます。

- 情報表示のON/OFF（8）、再生中の画像の種類やカメラの状態によって、操作できる項目や表示は異なります。

1	撮影モードへの切り換え ......26、38、122
2	再生モード ......32、78、84、87
3	プロテクト設定......99
4	プリント指定......101 音量......98、108、125
5	情報表示の切り換え......8
6	画像回転......106
7	スリム効果......118 アオリ効果......119
8	お気に入りフォルダーへの登録......80
9	音声メモ......107
10	美肌......120
11	HOME（ホーム）画面への移動......14
12	削除......32
13	スライドショー......98
14	サムネイル表示......93
15	拡大表示......91 動画再生......125
16	スモールピクチャー......117
17	ピクチャーカラー......116
18	D-ライティング......115
19	簡単レタッチ......114
20	ペイント......111

再生時（情報表示）

INFOをタッチして、画像情報をON（□9）に切り換えたときの情報表示は以下のとおりです。

- 再生中の画像の種類やカメラの状態によって、表示は異なります。

1	ファイル名............................... 159
2	撮影日/撮影時刻..........................22
3	プリント指定........................... 101
4	プロテクト設定...........................99
5	簡単レタッチ...................... 114 D-ライティング .... 115 ピクチャーカラー 116
6	音声メモ............................ 107
7	スモールピクチャー 117
8	バッテリーチェック※..........26

9	a 画像の番号/全画像数.............. 32 b 動画の再生時間.....................125
10	内蔵メモリー表示................. 32
11	画像モード .... 64 動画設定.................................123
12	トリミング 121
13	スリム効果..........................118 アオリ効果..........................119
14	ペイント 111
15	美肌....................................120

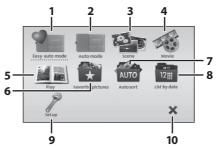
※画像情報のON/OFFにかかわらず、バッテリーの残量が少なくなると表示されます。

画像の表示について

カメラ本体を回転すると、以下のように画像とアイコンの表示が切り換わります。

カメラを上向きや下向きにすると、適切な回転方向で表示できないことがあります。

HOME（ホーム）画面

撮影画面や再生画面の右下にある HOME アイコン（□10、12）をタッチすると、HOME画面になります。
HOME画面にすると、撮影モードや再生モードの選択、セットアップメニューの表示ができます。

1	らくらくオート撮影モードへ切り換えます。......26	6	お気に入り再生モードへ切り換えます。......78
2	オート撮影モードへ切り換えます。......37	7	オート分類再生モードへ切り換えます。......84
3	シーンモードへ切り換えます。......38	8	撮影日一覧モードへ切り換えます。......87
4	動画モードへ切り換えます。....122	9	セットアップメニューを表示して、カメラの基本設定をします。....139
5	再生モードへ切り換えます。.....32	10	撮影/再生モードへ戻ります。

HOME画面のデザインについて

HOME画面のデザインは、セットアップメニュー（□139）の［**HOME画面デザイン**］（□141）で変更できます。

セットアップメニュー

HOME画面で、[**Set up**]アイコンをタッチすると、セットアップメニュー画面になります。
セットアップメニュー画面で項目をタッチすると、その項目の設定画面になります。

1	▲ ▼：前後のページを表示します。
2	?：ヘルプ画面になります。項目をタッチすると、その機能の説明（ヘルプ）を表示します。
3	⮌：直前の画面に戻ります。
4	HOME：メニューを終了して、HOME画面へ戻ります。

ヘルプの表示方法

?をタッチすると、選択中の機能の説明（ヘルプ）を表示できます。

⮌をタッチすると、ヘルプを表示する前の画面に戻ります。

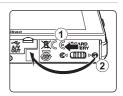
- シーンモードの特徴を表示するには→📖38
- セットアップメニューで各項目のヘルプを表示するには→📖140

バッテリーをカメラに入れる

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池）をカメラに入れます。

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください（□16）。

1 バッテリー/SDカードカバーを開ける

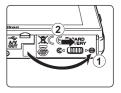
- ロックレバーを◁側にスライドさせ（①）、カバーを開けます（②）。

2 バッテリーを奥まで差し込む

- バッテリー室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。
- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを押し上げながら（①）、奥まで差し込んでください（②）。
- 奥まで押し込むと、バッテリーロックレバーで、バッテリーが固定されます。

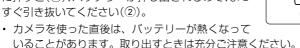
逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損する恐れがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー/SDカードカバーを閉じる

- カバーを閉じ（①）、ロックレバーを▶⊖側にスライドさせます（②）。

バッテリーを取り出すときは

スライドカバーを閉じて電源をOFFにし（📖21）、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜いてください（②）。

- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

☑ バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、必ず「安全上のご注意」の「危険」（📖iv）、「警告」（📖iv）、「注意」（📖iv）の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」（📖162）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。

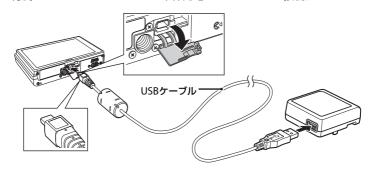
バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池）を入れたカメラを家庭用コンセントに接続して充電します。
接続には付属の本体充電ACアダプター EH-68PとUSBケーブル UC-E6を使います。

1 本体充電ACアダプター EH-68Pを用意する

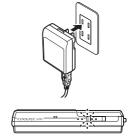
2 カメラの電源ランプとモニターの消灯を確認する

- バッテリーはカメラに入れ（□16）、電源はOFFにしてください（□21）。

3 付属のUSBケーブルでカメラと本体充電ACアダプターを接続する

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

- カメラの電源ランプがオレンジ色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約4時間です。

- コンセントに接続しているときの電源ランプの状態と意味は以下のとおりです。

電源ランプ	意味
ゆっくり点滅（オレンジ色）	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅（オレンジ色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（オレンジ色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

5 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USB ケーブルを外す

本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電AC アダプター EH-68Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-68Pをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（📖v）、「注意」（📖v）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」（📖162）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- EH-68P は、家庭用電源の AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。
- EH-68Pはカメラ内のバッテリーを充電するためのACアダプターです。EH-68Pをカメラに接続しているときは、カメラの電源はONにできません。
- EH-68P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

AC電源について

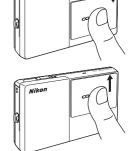
- 別売のACアダプター EH-62F（📖158）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

パソコンや充電器で充電する

- COOLPIX S70をパソコンに接続してもEN-EL12 を充電できます（📖127、131）。
- EN-EL12は、別売のバッテリーチャージャー MH-65P（📖158）でも充電できます。

電源をON/OFFするには

スライドカバーを開くと、電源がONになります。電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、モニターが点灯します。

スライドカバーを閉じると、電源はOFFになります。電源がOFFになると、電源ランプとモニターの両方が消灯します。

スライドカバーを開くときのご注意

スライドカバーを開くときは、レンズに指が触れないように注意してください。

撮影時の節電機能について

カメラを操作しない状態が約1分（初期設定）続くと、モニターが自動的に消灯して待機状態になります（オートパワーオフ機能）。

- 待機状態でモニターが消灯しているとき（電源ランプ点滅中）は、シャッターボタンを押すとモニターが点灯します。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（139）の［**オートパワーオフ**］（149）で変更できます。
- 別売のACアダプター　EH-62F（158）を接続したときは、操作しない状態が約1分（初期設定）続くと、スクリーンセーバーが作動してモニターの焼き付きを抑えます（149）。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 スライドカバーを開いて、電源をONにする

- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、モニターが点灯します。
- 「COOLPIX」画面が表示されたら、画面をタッチするか、シャッターボタンを半押ししてください。

2 表示言語をタッチする

- タッチパネルの操作方法→□6

3 ［はい］をタッチする

- 日時設定を中止するときは［**いいえ**］をタッチします。

4 ◀または▶をタッチして自宅のある地域（タイムゾーン）（□145）を選び、OKをタッチする

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、手順4の地域設定画面で夏時間アイコンをタッチして、夏時間の設定をオンにします。
設定をオンにすると、画面上部に夏時間アイコンが表示されます。オフにするときは、もう一度夏時間アイコンをタッチしてください。

撮影の準備

5 ▲または▼をタッチして［**年月日**］の表示順を選ぶ

6 日時を合わせる

- 変更したい項目をタッチし、▲または▼をタッチして日時を合わせます。

7 OKをタッチして決定する

- 設定が有効になり、撮影画面になります。

設定した日時を変更する

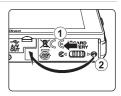
- すでに設定した日時を変更するときは、セットアップメニュー（□139）の［**日時設定**］（□143）で［**日時**］を選び、上記の手順5から設定してください。
- 地域（タイムゾーン）や夏時間の設定を変更するときは、セットアップメニューの［**日時設定**］から［**タイムゾーン**］を選んで設定してください（□143）。

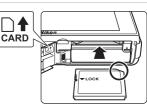
SDカードを入れる

撮影または録音したデータは、カメラの内蔵メモリー（約20 MB）、または市販のSDカード（📖158）のどちらかに記録されます。

カメラにSDカードを入れるとSDカードに記録し、SDカードのデータを再生、削除、または転送します。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

1 電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開ける

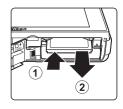
- バッテリー /SDカードカバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー/SDカードカバーを閉めてください。

☑ 逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードを取り出すときは

スライドカバーを閉じて電源をOFFにし、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。カードを指で軽く奥に押し込むと（①）、カードが押し出されます。まっすぐ引き抜いてください（②）。

- カメラを使った直後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

SDカードの初期化

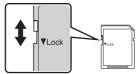
電源をONにしたときに右のように表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。**ただし、SDカードを初期化（□150）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。

初期化するときは、［**はい**］をタッチします。確認画面が表示されたら、［**はい**］をタッチし、［**実行**］をタッチすると初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化（□150）してからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除を禁止して、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ

SDカードの取り扱い上のご注意

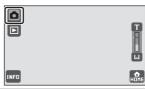
- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中、画像の記録や削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録しているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードを着脱しないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　電源をONにして(らくらくオート撮影)を選ぶ

(らくらくオート撮影)にすると、構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別するので、簡単にシーンに合った撮影ができます(34)。

1 スライドカバーを開いて電源をONにする

- 電源ランプ(緑色)が一瞬点灯し、モニターが点灯します。
- ご購入時は、(らくらくオート撮影)モードに設定されています。手順4に進んでください。

2 撮影モードアイコンをタッチする

3 をタッチする

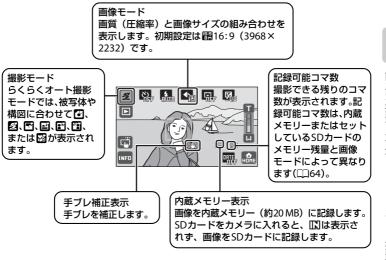
- (らくらくオート撮影)モードになります。
- 撮影モードは、HOME画面でも切り換えできます(14)。

4 モニターでバッテリー残量を確認する

バッテリー残量

モニター表示	内容
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
(バッテリー少表示)	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

（らくらくオート撮影）モードでのモニター表示

画面左のをタッチして情報をONにすると、記録可能コマ数や撮影時の設定などを確認できます（8）。

タッチシャッターについてのご注意

初期設定では、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（51）。誤ってシャッターをきらないようにご注意ください。

画像をプリントするときのご注意

[**画像モード**]を[**16:9(3968)**]（初期設定）にして撮影した画像をプリントすると、画像の端が削られ、画像全体がプリントできないことがあります（132）。

らくらくオート撮影モードで使用可能な機能について

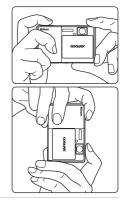
- 人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせる顔認識撮影ができます。詳しくは、「らくらくオート撮影モードについて」（34）をご覧ください。
- をタッチして設定アイコンを表示すると、撮影時の設定を変更できます（48）。

手ブレ補正について

- 詳しくは、セットアップメニュー（139）の［**手ブレ補正**］（147）をご覧ください。
- 三脚などに固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

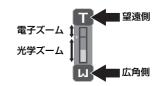
- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部をレンズより上にしてください。

2　構図を決める

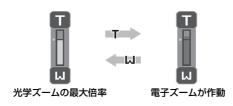
- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります（🕮34）。
- カメラが人物の顔を認識したときは、人物の顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。
  最大12人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、カメラに最も近い顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AF エリアは表示されません。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

らくらくオート撮影モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は になります。

ズームを使う

Tまたは Wをタッチすると、光学ズームが作動します。
被写体を大きく写したいときは Tをタッチしてください。
広い範囲を写したいときは Wをタッチしてください。

電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらに Tに触れ続けると、電子ズームが作動します。光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。
電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。タッチシャッター（□51）およびタッチAF/AE（□53）は使えません。

電子ズームと画像の劣化について

- 電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（□64）や電子ズーム倍率により、画質が劣化します。ズーム表示の マークは、画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。 マークの位置は画像サイズが小さいほど上に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに撮影できるズーム位置を事前に確認できます。
- セットアップメニュー（□139）の［**電子ズーム**］（□148）で、電子ズームが作動しない設定にできます。

画像サイズが小さい場合

ステップ3　ピントを合わせてシャッターをきる

1 シャッターボタンを半押しする（📖4）

- 半押しすると、カメラがピントを合わせます。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。

顔認識した場合：

顔認識していない場合：

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示が緑色に点灯します。

- 半押しすると、シャッタースピードと絞り値が表示されます。
- 半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
- カメラが被写体ブレや手ブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、シャッタースピード表示が緑色に変わります（モーション検知（📖34））
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときは、ピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

画像の記録についてのご注意

モニターで「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**バッテリー / SDカードカバーを開けないでください。**画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリア表示やAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、同距離にある別の被写体にピントを合わせる方法（□55）をお試しください。

顔認識についてのご注意

詳しくは、「顔認識についてのご注意」（□34）をご覧ください。

タッチシャッターについて

初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（□51）。シャッターをきらずにタッチした被写体でピントと露出を合わせる[**タッチAF/AE**]に変更できます（□53）。

AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押しするとAF補助光（□148）が点灯することや、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュ（□62）が発光することがあります。

ステップ4　撮影した画像を再生する/削除する

画像を再生する（再生モード）

▶をタッチする

撮影画面

再生画面

- 最後に撮影した画像が1コマ表示されます。
- 画像をドラッグすると、前後の画像を表示できます。2本の指で画像をドラッグすると、よりはやく画像を送ることができます。
- 撮影に戻るには、画面左上の撮影モードアイコン（📷）をタッチするか、シャッターボタンを押します。

- 画面左のINFOをタッチして画像情報をONにすると（□9）、画像の番号を確認できます。また、内蔵メモリーの画像を再生しているときは、INが表示されます。SD カードをカメラに入れたときは、INは表示されず、SDカードの画像が再生されます。

画像を削除する

1 削除したい画像を表示し、INFOをタッチして画面の右に🗑を表示する（□9）

2 🗑をタッチする

3 ［はい］をタッチする

- 削除した画像はもとに戻せません。
- 削除をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。

再生モードで使える機能

1コマ表示中にINFOをタッチして画像情報をONにすると（□9）、設定アイコンで以下の機能が使えます。

機能	アイコン	内容	□
画像を拡大する	Q	最大約10倍までの倍率に拡大します。画像に2本の指を触れたまま、指の間隔を広げても拡大できます。Xをタッチすると、1コマ表示に戻ります。	91
サムネイル表示する	⊞	6コマ、12コマ、または20コマのサムネイル画像を表示します。画像に2本の指を触れたまま、つまむように狭めてもサムネイル表示にできます。	93
スライドショーを再生する	▶	記録した画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	98
撮影モードに切り換える	撮影モードアイコン	画面左上の撮影モードアイコン（□10）をタッチします。シャッターボタンを押しても、撮影モードに切り換わります。	–
HOME画面へ移動する	HOME	HOME画面にすると、撮影モードや再生モードの選択、セットアップメニューへの切り換えができます。	14

画像の再生について

- 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- カメラを縦に構えて撮影した画像（縦位置の画像）は、自動的に回転して表示されます（□13）。回転方向は、[**画像回転**]（□106）で変更できます。
  カメラ本体を回転すると、画像も回転して表示されます（□13）。
- 節電による待機状態でモニターが消灯しているときは、シャッターボタンを押すと、モニターが点灯します（□149）。

複数の画像をまとめて削除する

- サムネイル表示にして🗑をタッチすると、複数の画像をまとめて削除できます（□95）。
- お気に入り再生モード（□81）、オート分類再生モード（□84）の一覧画面で🗑をタッチすると、同じ分類の画像をすべて削除できます（□96）。
- 撮影日一覧モード（□87）の撮影日一覧画面で🗑をタッチすると、同じ撮影日の画像をすべて削除できます（□96）。

らくらくオート撮影モードについて

自動判別するシーンについて

カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

- オート撮影（一般的な撮影）
- ポートレート（39）
- 風景（40）
- 夜景（42）
- 夜景ポートレート（40）
- 逆光（44）
- クローズアップ（42）

らくらくオート撮影モードでのピント合わせについて

撮影モードアイコンが や のときは、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、もっとも手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。

顔認識についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（31）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、同距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（55）をお試しください。

モーション検知について

（らくらくオート撮影）モードや（オート撮影）モードなどでは、カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度が上がり、シャッタースピードが速くなります。このようなときは、シャッタースピード表示が緑色に変わります。

- モーション検知が作動しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

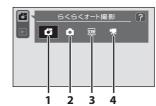
撮影モードを切り換える

撮影モードは、らくらくオート撮影、オート撮影、シーン、および動画から選べます。

1 撮影時に撮影モードアイコンをタッチする

- 撮影モードの選択アイコンが表示されます。

2 設定したい撮影モードのアイコンをタッチする

- （シーン）をタッチしたときは、シーンの選択アイコンが表示されます。設定したいシーンのアイコンをタッチします（38）。
- タッチした撮影モードに切り換わり、撮影画面になります。
- 選択アイコンの表示中に画面左上の撮影モードアイコンをタッチするか、シャッターボタンを押すと、撮影モードを切り換えずに撮影画面に戻ります。

1	**らくらくオート撮影**	26
	構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った撮影ができます。	
2	**オート撮影**	37
	フラッシュモード、マクロモード（接写）など、いろいろな機能を自分で設定して撮影できます。連写の設定やピントを合わせるAFエリアが被写体を追尾する「ターゲット追尾」も設定できます。	
3	**シーン**	38
	撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った撮影ができます。	
4	**動画**	122
	動画（音声付き）を撮影できます。	

HOME画面での撮影モード切り換え

HOME画面でも撮影モードの切り換えができます（□14）。HOME画面を表示するには、撮影画面や再生画面などの右下にある🏠をタッチします。

各撮影モードで変更可能な設定について

撮影時にINFOをタッチすると、設定アイコンが表示され、撮影の設定を変更できます。変更できる設定は撮影モードによって異なります（□49）。

オート撮影モードで撮影する

フラッシュモード、マクロモード（接写）など、いろいろな機能を自分で設定して撮影できます。連写の設定やピントを合わせるAFエリアが被写体を追尾する「ターゲット追尾」も設定できます。

1 撮影時に撮影モードアイコンをタッチして撮影モードの選択アイコンを表示し、📷をタッチする

- 📷（オート撮影）モードになります。
- 撮影モードは、HOME画面でも切り換えできます（📖14）。

2 INFOをタッチして、設定アイコンを表示する

3 設定を確認または変更する

- 設定を変更するときは、設定アイコンをタッチします。
- 設定について詳しくは「撮影時の設定を変える」（📖48）をご覧ください。

4 構図を決めて撮影する

- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。シャッターボタンを半押しすると二重枠のAFエリアでピントが合います（📖28、34）。

- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、もっとも手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います（📖34）。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。
- 初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（📖51）。シャッターをきらずにタッチした被写体でピントと露出を合わせる[**タッチAF/AE**]に変更できます（📖53）。

関連ページ

- オートフォーカスが苦手な被写体→📖31
- 顔認識についてのご注意→📖34

シーンに合わせて撮影する（シーンモード）

以下の撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った撮影ができます。

ポートレート	風景	スポーツ	夜景ポートレート	パーティー
海・雪	夕焼け	トワイライト	夜景	クローズアップ
料理	ミュージアム	打ち上げ花火	モノクロコピー	手書きメモ
逆光	パノラマアシスト			

シーンモードの設定方法

1 撮影時に撮影モードアイコンをタッチして撮影モードの選択アイコンを表示し、SCENEをタッチする

- シーンの選択アイコンが表示されます。
- 撮影モードは、HOME画面でも切り換えできます（□14）。

2 設定したいシーンのアイコンをタッチする

- 「シーンモードの種類と特徴」→□39

3 構図を決めて撮影する

- シーンによっては、INFO をタッチして情報ONにすると、シーンエフェクト調整スライダーでシーンの効果を調整できます（□39）。
- INFO をタッチして設定アイコンを表示すると、撮影時の設定を変更できます（□48）。

シーンモードのヘルプの表示方法について

手順2で?をタッチすると、[**ヘルプ選択**]画面になります。シーンのアイコンをタッチすると、それぞれのシーンの特徴を表示します。

↩をタッチすると、[**ヘルプ選択**]画面に戻ります。

- [**ヘルプ選択**] 画面でもう一度?をタッチすると、手順2の画面に戻ります。

シーンエフェクトの調整

以下のシーンモードでは、INFOをタッチして情報ONにすると、シーンエフェクト調整スライダーが表示されます。シーンエフェクト調整スライダーをタッチして、シーンの効果を調整できます。

シーンエフェクト調整スライダー

ポートレート、夜景ポートレート、海・雪、夜景、逆光	暗く ⇔ 明るく
料理	青く ⇔ 赤く
風景、クローズアップ	鮮やかさを減らす ⇔ 鮮やかさを増す
夕焼け、トワイライト	青味強く ⇔ 赤味強く

シーンモードの種類と特徴

ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（28、34）。
- 顔を認識しないときは、シャッターボタンを半押しすると、画面中央でピントが合います。
- 美肌機能で人物の顔(最大 3 人)の肌をなめらかにしてから画像を記録します(120)。
- 電子ズームは使えません。
- フラッシュの初期設定は（赤目軽減自動発光)です。
- シーンエフェクト調整スライダーで明るさを調整できます（39）。

いろいろな撮影

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（30）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- フラッシュは使えません。
- AF 補助光（148）は点灯しません。
- シーンエフェクト調整スライダーで色の鮮やかさを調整できます（39）。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、ピント合わせを繰り返します。
- シャッターボタンを全押ししている間、約 1 コマ / 秒で最大 6 コマまで連写できます（画像モードが [**16:9（3968）**] のとき）。
- 画像モードや SD カードの種類または撮影状況によって、最大連写速度が遅くなることがあります。
- [**タッチシャッター**]（51）で撮影すると、1 コマずつの撮影になります。
- フラッシュは使えません。
- AF 補助光（148）は点灯しません。

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュで撮影します。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（28、34）。
- 顔を認識しないときは、シャッターボタンを半押しすると、画面中央でピントが合います。
- 美肌機能で人物の顔（最大 3 人）の肌をなめらかにしてから画像を記録します（120）。
- 電子ズームは使えません。
- フラッシュの設定は赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
- シーンエフェクト調整スライダーで明るさを調整できます（39）。

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（147）を［**OFF**］にしてください。

NR：NR がついたシーンモードでは、自動的にノイズ低減を行うため、画像の記録時間が通常より長くなります。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- フラッシュの初期設定は（赤目軽減自動発光）です。赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。暗い場所では、三脚などの使用をおすすめします。
- 三脚などで固定して撮影するときは[**手ブレ補正**]（147）をOFFにしてください。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- シーンエフェクト調整スライダーで明るさを調整できます（39）。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- フラッシュの初期設定は（発光禁止）です。
- シーンエフェクト調整スライダーで色味を調整できます（39）。

トワイライト

NR

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（30）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- フラッシュは使えません。
- AF補助光（148）は点灯しません。
- シーンエフェクト調整スライダーで色味を調整できます（39）。

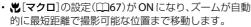
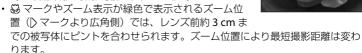
夜景

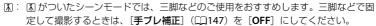
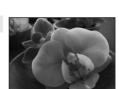
夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□30）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- フラッシュは使えません。
- AF 補助光（□148）は点灯しません。
- シーンエフェクト調整スライダーで明るさを調整できます（□39）。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- ［**マクロ**］の設定（□67）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。

- マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置（▷マークより広角側）では、レンズ前約 3 cm までの被写体にピントを合わせられます。ズーム位置により最短撮影距離は変わります。
- フラッシュ撮影時は、撮影距離が 30 cm 未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、ピント合わせを繰り返します。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（□147）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。
- シーンエフェクト調整スライダーで色の鮮やかさを調整できます（□39）。

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（□147）を［**OFF**］にしてください。

NR：NR がついたシーンモードでは、自動的にノイズ低減を行うため、画像の記録時間が通常より長くなります。

料理

料理の撮影に便利です。

- [**マクロ**]の設定（67）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置（マークより広角側）では、レンズ前約 3 cm までの被写体にピントを合わせられます。ズーム位置により最短撮影距離は変わります。
- フラッシュは使えません。
- シーンエフェクト調整スライダーで、照明によって被写体の色が変わる影響を調整できます（39）。料理モードのシーンエフェクトの調整は電源を OFF にしても記憶されます。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- BSS（ベストショットセレクター）（68）を使って撮影できます。
- [**タッチシャッター**]（51）で撮影すると、BSS は作動しません。
- 手ブレしやすいため、[**手ブレ補正**]（147）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。
- フラッシュは使えません。
- AF 補助光（148）は点灯しません。

打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火を撮影します。

- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（30）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- フラッシュは使えません。
- AF 補助光（148）は点灯しません。

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロ（67）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。
- フラッシュの初期設定は（発光禁止）です。

手書きメモ

タッチパネルで文字や絵を書いて、画像として保存します。
詳しくは「手書きメモ機能を使う」（45）をご覧ください。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならずに撮影できます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- フラッシュの設定は（強制発光）に固定されます。
- シーンエフェクト調整スライダーで明るさを調整できます（39）。

パノラマアシスト

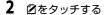
撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。詳しくは「パノラマアシストを使った撮影方法」（46）をご覧ください。撮影した画像は、付属のソフトウェア「Panorama Maker」を使ってパソコンでパノラマ写真に合成します。

- フラッシュの初期設定は（発光禁止）です。

手書きメモ機能を使う

タッチパネルで文字や絵を描いて、画像として保存します。保存される画像サイズは［**TV**］（640×480）になります。

1 撮影時に撮影モードアイコンをタッチして撮影モードの選択アイコンを表示し、SCENEをタッチする

- シーンの選択アイコンが表示されます。
- 撮影モードは、HOME画面でも切り換えできます（📖14）。

2 をタッチする

3 文字や絵を描く

- 🔍をタッチすると、画像を3倍に拡大表示して描けます。表示範囲を移動するときは、▲▶▼◀をタッチします。🔍をタッチすると拡大表示を終了します。
- ✎（ペン）をタッチして、文字や絵を描きます（📖112）。
  ◇（消しゴム）をタッチすると、線を消せます（📖112）。

4 OKをタッチする

- OKをタッチする前に、↩をタッチすると、ペン、消しゴムで描いた動作を取り消して、ひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。

5 ［**はい**］をタッチする

- メモが保存されます。
- 保存しないときは［**いいえ**］をタッチします。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央でピントを合わせます。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□139）の［**手ブレ補正**］（□147）をOFFにしてください。

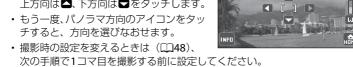
1 撮影時に撮影モードアイコンをタッチして撮影モードの選択アイコンを表示し、SCENEをタッチする

- シーンの選択アイコンが表示されます。
- 撮影モードは、HOME画面でも切り換えできます（□14）。

2 ⌘をタッチする

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す▶マークが表示されます。

3 パノラマ方向をタッチする

- 右方向につなげるときは▶、左方向は◀、上方向は▲、下方向は▼をタッチします。
- もう一度、パノラマ方向のアイコンをタッチすると、方向を選びなおせます。
- 撮影時の設定を変えるときは（□48）、次の手順で1コマ目を撮影する前に設定してください。

4 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約1/3の部分に半透明で表示されます。

5 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

6 必要な画像を撮影し終わったら、X をタッチする

- 手順3の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- 撮影時の設定（□48）は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。1コマ目を撮影した後は、ズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（□149）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AFL 表示について

パノラマアシストモードでは、パノラマ写真を構成するすべての画像を、1コマ目と同じ露出、ホワイトバランスおよびピントで撮影します。1コマ目を撮影すると、露出、ホワイトバランスとピントをロック（固定）したことを示す AE/AFL が画面に表示されます。

Panorama Maker について

Panorama Maker は、付属のSoftware Suite（CD-ROM）を使ってパソコンにインストールできます。
撮影した画像をパソコンに転送して（□127）、Panorama Maker でパノラマ写真に合成してください（□130）。

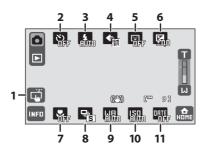
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□159

撮影時の設定を変える

設定の種類

撮影状況や撮影目的に合わせて、以下の機能を設定または変更できます。

- 設定または変更できる項目は、撮影モードによって異なります。→「各撮影モードで変更可能な設定について」(□49)

1	タッチ撮影 タッチシャッター ....51 タッチAF/AE ....53 ターゲット追尾 56
2	セルフタイマー 58
3	フラッシュ 62
4	画像モード 64
5	笑顔自動シャッター 60
6	露出補正 66
7	マクロ 67
8	連写 68
9	WB ホワイトバランス 70
10	ISO ISO感度設定.......................73
11	DATE デート写し込み 74

各撮影モードで変更可能な設定について

各撮影モードでは、以下の機能の設定を変更できます。　○：変更できます

撮影モード＼機能		□51	□53	□56	□58	□62	※1、3 □64	□60	□66	□67	□68	WB □70	ISO □73	※1、3 DATE □74
らくらくオート撮影		○	○		○	○※2	○	○	○					○
オート撮影		○※3	○※3	○※3	○	○※3	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	○
シーン	ポートレート	○	○		○	○	○	○	○					○
	風景				○		○		○					○
	スポーツ	○	○				○		○					
	夜景ポートレート	○	○		○		○	○	○					○
	パーティー	○	○		○	○	○		○					○
	海・雪	○	○		○	○	○		○					○
	夕焼け				○	○	○		○					○
	トワイライト				○		○		○					○
	夜景				○		○		○					○
	クローズアップ	○	○		○	○	○		○					○
	料理	○	○		○		○		○					○
	ミュージアム	○	○		○		○		○	○				
	打ち上げ花火						○							○
	モノクロコピー	○	○		○	○	○		○	○				○
	手書きメモ													
	逆光	○	○		○		○		○					○
	パノラマアシスト				○	○	○		○	○				

※1 設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ設定になります（動画モードを除く）。
※2 AUTO［**自動発光**］と ⊘［**発光禁止**］だけが選べます。AUTO［**自動発光**］にすると、自動判別したシーンに合わせて、カメラが自動的に設定します。
※3 電源をOFFにしても、設定内容は記憶されます。

同時に設定できない機能

撮影時の設定には、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。→「同時に設定できない機能」（□75）

いろいろな撮影

設定変更の操作方法

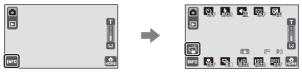
1　撮影画面でINFOをタッチする

2　変更したい設定のアイコンをタッチする

3　設定の項目をタッチする

- 設定に応じて、撮影画面でタッチ撮影アイコンまたは設定アイコン下部の表示が変わります。
- 選択アイコンの表示中に設定アイコンをタッチするか、シャッターボタンを半押しすると、設定を変更せずに撮影画面に戻ります。

画面にタッチしてシャッターをきる(タッチシャッター)

タッチ撮影の設定を[**タッチシャッター**](初期設定)にすると、画面にタッチするだけで、シャッターがきれます。

撮影画面の左側のタッチ撮影アイコンをタッチして設定します。

1 (タッチシャッター)をタッチする

- 撮影画面の左にが表示されます。

2 ピントを合わせたい被写体をタッチして撮影する

- モニターにタッチするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる(手ブレする)ことがありますのでご注意ください。
- 電子ズーム使用時は、タッチシャッターが使えません。
- 撮影モードによって、タッチシャッターの動作は以下のように異なります。

撮影モード	タッチシャッターの動作
(らくらくオート撮影)モード	• 顔認識しているときは、二重枠の AF エリアでカメラがピントと露出を合わせます。複数の顔を認識したときは、二重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にカメラがピントと露出を合わせます。 • 顔認識していないときは、タッチしたエリアでカメラがピントを合わせます。

撮影モード	タッチシャッターの動作
(オート撮影)モード、シーンモードの[スポーツ]、[パーティー]、[海・雪]、[クローズアップ]、[料理]、[ミュージアム]、[モノクロコピー]、[逆光]	ピントを合わせたい被写体にタッチしてください。タッチしたエリアでカメラがピントと露出を合わせます。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモードの[ポートレート]、[夜景ポートレート]	顔認識して表示される枠をタッチしたときのみシャッターがきれます。
シーンモードの［風景]、［夕焼け］、［トワイライト]、［夜景]、［打ち上げ花火]、［パノラマアシスト]	シャッターボタンを押して撮影するときと同じAFエリアで、ピントと露出を合わせます。詳しくは、「シーンモードの種類と特徴」（39）をご覧ください。

- タッチシャッターに設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- モニターにタッチして［ ］が表示されたときは、シャッターがきれません。［ ］の内側または顔認識して表示される枠をタッチしてください。

タッチシャッターについてのご注意

- ［**連写**］または［**BSS**］を使って撮影するときや、シーンモードの［**スポーツ**］または［**ミュージアム**］で撮影するときは、シャッターボタンを押して撮影してください。タッチシャッターを使うと1コマずつの撮影になります。
- 誤って画面に触れてシャッターをきらないようにご注意ください。（らくらくオート撮影）モード、（オート撮影）モード、一部のシーンモードでは、タッチ撮影の設定を［**タッチAF/AE**］に切り換えると、画面にタッチしてもシャッターがきれないようにできます（53）。
- オートフォーカスが苦手な被写体の撮影では、ピント合わせができないことがあります（31）。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（75）

動画撮影時のタッチシャッターについて

動画モードでもタッチシャッターを使えます。画面をタッチして撮影の開始/終了ができます（122）。

タッチ撮影の設定について

（オート撮影）モードの場合、タッチ撮影の設定は電源をOFFにしても記憶されます。

画面にタッチしてピントを合わせる（タッチAF/AE）

タッチ撮影の設定を［**タッチシャッター**］（初期設定）から［**タッチAF/AE**］に切り換えられます。オートフォーカスでピント合わせをするAFエリアを、画面にタッチして選べます。シャッターボタンを押すと、選んだエリアでピントと露出が合いシャッターがきれます。

撮影画面の左側のタッチ撮影アイコンをタッチして設定します。

1 （タッチAF/AE）をタッチする

- 撮影画面の左にが表示されます。

2 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所には、〘 〙または二重枠のAFエリアが表示されます。
- 電子ズーム使用時は、タッチAF/AEが使えません。
- 撮影モードによって、タッチAF/AEの動作は以下のように異なります。

撮影モード	タッチAF/AEの動作
（らくらくオート撮影）モード	• 顔認識しているときは、枠で囲まれた顔以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。 • 顔認識していないときは、タッチしたエリアでカメラがピントのみを合わせます。

撮影モード	タッチAF/AEの動作
(オート撮影)モード、シーンモードの[スポーツ]、[パーティー]、[海・雪]、[クローズアップ]、[料理]、[ミュージアム]、[モノクロコピー]、[逆光]	タッチしたエリアでカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモードの[ポートレート]、[夜景ポートレート]	顔認識して表示される枠以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。

- AFエリアの選択を解除するときは、画面左側のをタッチします。
- AFエリアに選べない場所をタッチしたときは、モニターに[ ]が表示されます。[ ]で囲まれた範囲内で、タッチしてください。

3 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が固定され、全押しするとシャッターがきれます。

タッチAF/AEについてのご注意

- シーンモードの[**風景**]、[**夕焼け**]、[**トワイライト**]、[**夜景**]、[**打ち上げ花火**]、[**パノラマアシスト**]では、[**タッチAF/AE**]は使えません。タッチ撮影の設定は、[**タッチシャッター**]に固定されます。
- オートフォーカスが苦手な被写体の撮影では、ピント合わせができないことがあります(31)。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」(75)

タッチ撮影の設定について

(オート撮影)モードの場合、タッチ撮影の設定は電源をOFFにしても記憶されます。

オートフォーカスが苦手な被写体を撮影するときは

オートフォーカスが苦手な被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、以下の方法をお試しください。

1 (オート撮影)モードに切り換えて、タッチ撮影の設定を[**タッチAF/AE**]にする
- 撮影画面の左にが表示されます。

2 ピントを合わせたい被写体と同距離にある別の被写体にタッチする

3 シャッターボタンを半押しする
- ピントが合い、AFエリアが緑色に点灯します。
- 露出は、半押ししてピント合わせした被写体に合います。

4 半押ししたまま構図を変える
- 半押ししている間は被写体とカメラの距離を変えないでください。

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

⊕ 動く被写体にピントを合わせて撮影する（ターゲット追尾）

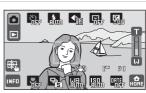
◘（オート撮影）モードでは、タッチ撮影の設定を □［**タッチシャッター**］（初期設定）から ⊕［**ターゲット追尾**］に切り換えできます。動きのある被写体を撮影するときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録すると、ターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。

◘（オート撮影）モードにして、撮影画面の左側のタッチ撮影アイコンをタッチして設定します。

1 ⊕（ターゲット追尾）をタッチする

- 撮影画面の左に ⊕ が表示されます。

2 被写体を登録する

- ピントを合わせたい被写体をタッチして、被写体を登録します。
- 顔認識しているときは、枠で囲まれた顔をタッチすると、顔が登録され、ターゲット追尾が始まります。複数の人物を認識していた場合、登録された顔以外の枠の表示が消えます。
- 顔以外の被写体が登録されると、黄色いAFエリアで囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- AF エリアが赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録してください。
- ターゲットを変えたいときは、もう一度ピントを合わせたい被写体をタッチしてください。
- ターゲット追尾中は、常にピントを合わせる動作音がします。
- カメラがターゲットを見失ってAFエリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。

3 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しして、枠で囲まれたAF エリアでピントが合うとAFエリアが緑色になり、ピントが固定されます。
- AFエリアが点滅したときは、被写体にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- AFエリアが表示されていない状態でシャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、もっとも手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

ターゲット追尾についてのご注意

- ズーム位置や撮影時の設定（48）は、被写体を登録する前に設定してください。被写体を登録した後に設定を変更すると、被写体の登録が解除されます。
- 被写体の動きが速いときや手ブレが大きいとき、類似した被写体がある場合など、撮影条件によっては、被写体をターゲットに登録できないことや追尾できないこと、または別の被写体を追尾することがあります。被写体の大きさや明るさなどによっても、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- 電子ズームは使えません。
- オートフォーカスが苦手な被写体の撮影では、ピント合わせができないことがあります（31）。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（75）

タッチ撮影の設定について

（オート撮影）モードの場合、タッチ撮影の設定は電源をOFFにしても記憶されます。

セルフタイマーを使う

記念撮影などで自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（139）の［**手ブレ補正**］（147）をOFFにしてください。

撮影画面で をタッチして設定します。

1 タイマー時間をタッチして選ぶ

- 10s（10秒）：記念撮影などに適しています。
- 2s（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。

2 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

3 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数がモニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

 セルフタイマーについてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□75）

笑顔を自動撮影する（笑顔自動シャッター）

カメラが顔認識した人物の笑顔を検出して、自動でシャッターをきります。

撮影画面で をタッチして設定します。

1 ONをタッチする

- 笑顔自動シャッターがONになります。

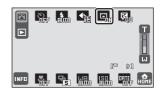
2 構図を決める

- カメラを被写体に向けます。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大 3 人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。一重枠で囲まれた顔をタッチすると、タッチした顔にAF エリアを変更できます。

3 自動的にシャッターがきれる

- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- カメラが顔を認識すると、セルフタイマーランプ（□4）が点滅します。シャッターがきれた直後は、速く点滅します。
- カメラはシャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。
- 美肌機能で人物の顔（最大 3 人）の肌をなめらかにしてから画像を記録します（□120）。

4 ◻をタッチし、OFFをタッチして、笑顔自動シャッターを終了する

- 以下の場合も、笑顔自動シャッターが終了します。
  - 12コマ撮影したとき
  - 5分間笑顔が検出されないとき

笑顔自動シャッターについてのご注意

- 笑顔自動シャッター中にシャッターボタンを全押しすると、シャッターがきれ、笑顔自動シャッターを終了します。
- 顔認識すると表示される二重枠または一重枠以外をタッチしても、AF エリアは変更できません。
- 電子ズームは使えません。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□75）

顔認識と笑顔検出について

笑顔自動シャッターでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識し、認識した顔の笑顔を検出します。

- 撮影条件などによって、顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 顔認識についてのご注意→□34

フラッシュモードの設定を変える

フラッシュの発光モードを撮影状況に合わせて設定できます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.3～3.5 m、望遠側で約0.5～2.5 mです（ISO感度設定がオート時）。
らくらくオート撮影モード（26）では、AUTO（自動発光）（初期設定）または（発光禁止）を選べます。

撮影画面で をタッチして設定します。

AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。 （らくらくオート撮影）モード（26）の場合は、自動判別したシーンに合わせて、カメラが自動的にフラッシュモードを設定します。
	赤目軽減自動発光
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます（63）。
	発光禁止
	フラッシュは発光しません。
	強制発光
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

フラッシュについてのご注意

- フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまうことがあります。このようなときは、フラッシュの設定を（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（75）

⊛（発光禁止）にして撮影するときや、暗い場所で撮影するときの注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（🕮139）の［**手ブレ補正**］（🕮147）をOFFにしてください。
- ISO感度が高くなると撮影した画像がざらつくことがあります。
- シャッタースピードが遅いときなどは、画像記録時にノイズ低減処理を行うことがあります。この場合、通常より画像の記録に時間がかかります。

フラッシュ表示について

シャッターボタン半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中はモニターが消灯します。

フラッシュの設定について

📷（オート撮影）モードの場合、フラッシュモード設定は電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、少量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。
さらに、カメラが撮影した画像を記録する前に赤目現象を検出したときは、赤目部分に補正を加えてから記録します。
撮影する際には、以下の点にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

画像モード（画質/画像サイズ）を変える

画像モード（画像サイズと圧縮率の組み合わせ）を選びます。画像の用途や内蔵メモリー/SDカードの残量に合わせて設定してください。画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

撮影画面で をタッチして設定します。

以下の画像モードを選べます。

画像モード	画像サイズ（ピクセル）	内　容
高画質（4000★）	4000×3000	［標準］よりも精細な画像になります。圧縮率は約1/4です。
標準（4000）	4000×3000	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
標準（3264）	3264×2448	
標準（2592）	2592×1944	
エコノミー（2048）	2048×1536	［標準］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
パソコン（1024）	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
TV（640）	640×480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
16:9（3968）（初期設定）	3968×2232	縦横比が16：9の画像を撮影できます。圧縮率は1/8です。

画像モードについてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（75）

画像をプリントするときのご注意

［**画像モード**］を［**16:9（3968）**］（初期設定）にして撮影した画像をプリントすると、画像の端が削られ、画像全体がプリントできないことがあります。
プリンターの設定を「フチあり」にすると画像全体をプリントできる場合があります。縦横比16：9の画像にプリンターが対応しているかなど、詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

画像モードの設定について

画像モードの設定は電源をOFFにしても記憶されます。また、画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画モードを除く）。

記録可能コマ数

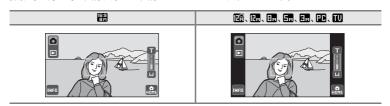
内蔵メモリーや512 MBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約20 MB）	SDカード※1（512 MB）	プリント時の大きさ※2
高画質（4000★）	3コマ	約80コマ	約34×25 cm
標準（4000）	7コマ	約165コマ	約34×25 cm
標準（3264）	10コマ	約245コマ	約28×21cm
標準（2592）	16コマ	約385コマ	約22×16.5 cm
エコノミー（2048）	25コマ	約605コマ	約17×13 cm
パソコン（1024）	87コマ	約2060コマ	約9×7 cm
TV（640）	163コマ	約3865コマ	約5×4 cm
16:9（3968）	9コマ	約220コマ	約34×19 cm

※1 記録可能コマ数が10000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

画像モードとモニターの表示について

撮影時や再生時の画像表示は、画像モードによって以下のように変わります。

露出補正で明るさを変える

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

撮影画面で をタッチして設定します。

1 スライダーまたは◀▶をタッチする

- 被写体が暗すぎるとき：補正値を＋側に設定してください。
- 被写体が明るすぎるとき：補正値を－側に設定してください。
- －2.0 EVから＋2.0 EVの範囲で補正できます。
- Xをタッチすると、設定を変更せずに撮影画面に戻ります。

2 OKをタッチする

- 設定が有効になります。
- 露出補正を解除するときは、をタッチしてスライダーを表示し、補正値を［**0**］にしてOKをタッチしてください。

露出補正の設定について

（オート撮影）モードの場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正について

- 構図の大部分が非常に明るいとき（太陽が反射する水や砂、雪を撮影するときなど）、背景が被写体より明るすぎるときは、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは、露出補正値を「＋」側に設定してください。
- 構図の大部分が非常に暗いとき（暗い緑の森を撮影するときなど）、背景が被写体よりも暗すぎるときは、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは、露出補正値を「－」側に設定してください。

マクロ（接写）の設定をする

最短約3 cmまで被写体に近づいて撮影できます。ただし、フラッシュ撮影時は、撮影距離が30 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

撮影画面で をタッチして設定します。

1 ONをタッチする

- マークが表示されます。

2 TまたはWをタッチして構図を決める

- マークが緑色で表示されるズーム位置（マークより広角側）では、レンズ前約3 cmまでの被写体にピントを合わせられます。

マクロについてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（75）

オートフォーカスについて

マクロモードにすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。

動画撮影時のマクロ設定について

動画モードでもマクロの設定ができます（124）。

マクロの設定について

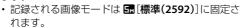
（オート撮影）モードの場合、マクロの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

連写の設定をする

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。
連写、BSS、マルチ連写に設定するとフラッシュは発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

撮影画面で をタッチして設定します。

以下の設定を選べます。

S	**単写（初期設定）**
	1コマずつ撮影します。
	連写
	シャッターボタンを全押ししている間､約1コマ/秒で最大6コマまで連写できます（画像モードが [**16:9（3968）**]のとき）。
BSS	BSS **（ベストショットセレクター）**
	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。 シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。
	マルチ連写
	シャッターボタンを1回全押しすると約7コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 • 記録される画像モードは [**標準（2592）**]に固定されます。 • 電子ズームは使えません。

連写についてのご注意

- 画像モードやSDカードの種類または撮影状況によって、最大連写速度が遅くなることがあります。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□75）

BSSについてのご注意

BSSは静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

マルチ連写についてのご注意

マルチ連写の撮影では、モニターにスミア（162）が発生すると、記録される画像にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

タッチシャッターについてのご注意

[**連写**]または BSS [**BSS**]に設定していても、タッチシャッターを使って撮影すると1コマずつの撮影になります。

連写の設定について

（オート撮影）モードの場合、連写の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

WB ホワイトバランスを変える

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整する必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定のAUTO[**オート**]でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

撮影画面で WB をタッチして設定します。

以下のホワイトバランスを選べます。

AUTO	**オート（初期設定）**
	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE	**プリセットマニュアル**
	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」（□72）をご覧ください。
☀	**晴天**
	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	**電球**
	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	**蛍光灯**
	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
☁	**曇天**
	曇り空の屋外での撮影に適しています。
⚡	**フラッシュ**
	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスについてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□75）

AUTO[オート]、フラッシュ[フラッシュ]以外を選んだ場合

AUTO[**オート**]、フラッシュ[**フラッシュ**]以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを発光禁止[**発光禁止**]に設定してください(□62)。

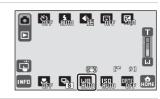
ホワイトバランスの設定について

カメラ（オート撮影）モードの場合、ホワイトバランスの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

プリセットマニュアルの使い方

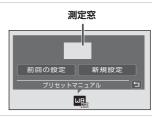
特殊な照明の下で撮影するときなど、AUTO［**オート**］や☀［**電球**］などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 INFO をタッチしてアイコンを表示し、WB をタッチする

3 PRE をタッチする

- レンズが望遠側のズーム位置になります。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［**前回の設定**］をタッチしてください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

5 ［**新規設定**］をタッチして、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。

プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］をAUTO［**オート**］または⚡［**フラッシュ**］に設定してください。

ISO ISO感度設定を変える

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当する数値を設定します。ISO感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。

撮影画面で ISO をタッチして設定します。

以下の設定を選べます。

AUTO オート（初期設定）

明るい場所ではISO 80になり、暗い場所では自動的にISO 800までISO感度が高くなります。

感度制限オート

カメラが自動的にISO感度を変更するときの範囲を [**ISO 80-200**]、[**ISO 80-400**]から選べます。選んだ範囲の上限値以上にISO感度は上がりません。ISO感度の上限値を設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。

80、100、200、400、800、1600、3200、6400

ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度設定をAUTO［**オート**］以外にすると、モーション検知（□34）は作動しません。

ISO感度についてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□75）

ISO感度［3200］および［6400］についてのご注意

- ISO［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にして撮影するときは、選べる［**画像モード**］は［**エコノミー（2048）**］、［**パソコン（1024）**］、および［**TV（640）**］に制限されます。
- ISO［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、撮影時の画面の画像モードアイコンが赤色になります。

ISO感度設定について

（オート撮影）モードの場合、ISO感度設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

DATE　日時を画像に写し込む（デート写し込み）

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（□103）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。
「デート写し込み」はセットアップメニューでも設定できます（□146）。

撮影画面で DATE をタッチして設定します。

以下の設定を選べます。

OFF OFF（初期設定）
日付、時刻のどちらも写し込みません。

DATE 年・月・日
画像に日付を写し込みます。

DATE 年・月・日・時刻
画像に日付と時刻を写し込みます。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- [**画像モード**]（□64）が TV [**TV（640）**]の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは PC [**パソコン（1024）**]以上に設定してください。
- 年月日の並びは、セットアップメニューの［**日時設定**］（□22、143）での設定と同じになります。
- 以下の場合は日付を写し込めません。
  - シーンモードが [**スポーツ**]（□40）、[**ミュージアム**]（□43）、または [**パノラマアシスト**]（□44）になっているとき
  - [**連写**]の設定が[**連写**]または BSS [**BSS**]のとき（□68）
  - 動画（□122）
  - [**手ブレ補正**]（□147）を[**ON（ハイブリッド）**]にして撮影するときは、デート写し込みは[**OFF**]になります。
- 撮影後に ［**ペイント**］の機能で撮影日のスタンプを押すこともできます（□111）。

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、DATE［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（□101）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

デート写し込みの設定について

デート写し込みの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じデート写し込み設定になります（シーンモードの［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］、［**パノラマアシスト**］、および動画モードを除く）。デート写し込みの設定は電源をOFFにしても記憶されます。

同時に設定できない機能

撮影時の設定には、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
タッチ撮影: **タッチシャッター（□51）** **タッチAF/AE（□53）** **ターゲット追尾（□56）**	笑顔自動シャッター（□60）	複数の顔を認識したときのみ、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。タッチシャッターとターゲット追尾は使えません。
	セルフタイマー（□58）	セルフタイマー設定時は、タッチシャッターでシャッターをきることはできません。
セルフタイマー（□58）	ターゲット追尾（□56）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、セルフタイマーは使えません。
	笑顔自動シャッター（□60）	笑顔自動シャッターを［**ON**］にすると、セルフタイマーは使えません。
フラッシュ（□62）	連写（□68）	［**連写**］、BSS［**BSS**］、［**マルチ連写**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
画像モード（□64）	連写（□68）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、画像モードは［**標準（2592）**］に固定されます。
	ISO感度設定（□73）	ISO［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にして撮影するときは、選べる画像モードは［**エコノミー（2048）**］、［**パソコン（1024）**］、および［**TV（640）**］に制限されます。 これらの画像サイズ以外に設定していたときにISO［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、［**エコノミー（2048）**］に変更されます。

制限される機能	設定	内容
笑顔自動シャッター(□60)	セルフタイマー(□58)	セルフタイマーで撮影するときは、笑顔自動シャッターは使えません。
マクロ(□67)	ターゲット追尾(□56)	タッチ撮影を[**ターゲット追尾**]にすると、マクロは使えません。
	笑顔自動シャッター(□60)	笑顔自動シャッターを[**ON**]にすると、マクロは使えません。
連写(□68)	セルフタイマー(□58)/笑顔自動シャッター(□60)	[**連写**]、BSS[**BSS**]、[**マルチ連写**]は使えません。
WB ホワイトバランス(□70)	笑顔自動シャッター(□60)	笑顔自動シャッターを[**ON**]にすると、ホワイトバランスはAUTO[**オート**]に固定されます。
ISO ISO感度設定(□73)	笑顔自動シャッター(□60)	笑顔自動シャッターを[**ON**]にすると、ISO感度設定はAUTO[**オート**]に固定されます。
	連写(□68)	連写を[**マルチ連写**]にすると、ISO感度設定はAUTO[**オート**]に固定されます。
DATE デート写し込み(□74)	連写(□68)	[**連写**]、BSS[**BSS**]にして撮影するときは、日付を写し込めません。
	手ブレ補正(□147)	手ブレ補正の[**ON(ハイブリッド)**]とデート写し込みは同時に使えません。手ブレ補正を[**ON(ハイブリッド)**]にして撮影するときは、デート写し込みは[**OFF**]になります。
電子ズーム(□29)	ターゲット追尾(□56)	タッチ撮影を[**ターゲット追尾**]にすると、電子ズームは使えません。
	笑顔自動シャッター(□60)	笑顔自動シャッターを[**ON**]にすると、電子ズームは使えません。
	連写(□68)	連写を[**マルチ連写**]にすると、電子ズームは使えません。

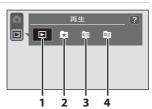
再生モードを切り換える

再生モードは、▶再生、★お気に入り再生、AUTOオート分類、12撮影日一覧から選べます。

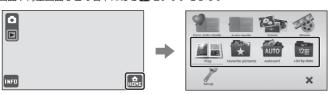
1 再生時に再生モードアイコンをタッチする

- 再生モードの選択アイコンが表示されます。

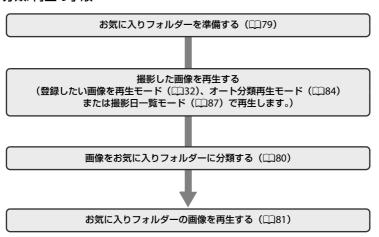
2 設定したい再生モードのアイコンをタッチする

- タッチした再生モードに切り換わります。
- 選択アイコン表示中に、画面左の再生アイコンをタッチすると、再生モードを切り換えずに直前の再生モードに戻ります。

1	▶ **再生**	📖32
	撮影したすべての画像を再生します。	
2	★ **お気に入り再生**	📖78、81
	お気に入りフォルダーに登録した画像を再生します。	
3	AUTO **オート分類**	📖84
	撮影時に自動分類された項目を選んで、画像や動画を再生します。	
4	12 **撮影日一覧**	📖87
	撮影日を選んで、画像を再生します。	

HOME画面での再生モード切り換え

HOME画面でも再生モードの切り換えができます（📖14）。HOME画面を表示するには、撮影画面や再生画面などの右下にあるHOMEをタッチします。

お気に入りの画像を分類する（お気に入り再生）

撮影した画像を旅行や結婚式などのイベントごとにお気に入りフォルダーへ登録して分類できます。フォルダーへ登録すると、見たいイベントだけを再生できます。また、1つの画像を複数のフォルダーに登録することもできます。

分類/再生の手順

お気に入りフォルダーを準備する（アイコンの設定）

画像を分類するお気に入りフォルダーのデザイン（アイコン）を変更しておくと、フォルダーにどのような分類で画像を登録したか分かりやすくなります。アイコンは、画像をお気に入りフォルダーに登録した後でも変更できます。

1 再生時に再生モードアイコンをタッチして再生モードの選択アイコンを表示し、★をタッチする

- お気に入りフォルダーが一覧表示されます。
- 再生モードは、HOME画面でも切り換えできます（□14）。

2 ✎をタッチする

- フォルダーの選択画面が表示されます。

3 変更したいフォルダーをタッチする

- アイコンとアイコンの色の選択画面になります。
- ✕をタッチすると、設定を変更せずにお気に入りフォルダーの一覧表示に戻ります。

4 フォルダーに表示したいアイコンとアイコンの色をタッチし、OKをタッチする

- アイコンが変更され、手順2のお気に入りフォルダーの一覧画面に戻ります。
- ↩をタッチすると、設定を変更せずにフォルダー選択画面に戻ります。

お気に入りフォルダーのアイコン設定についてのご注意

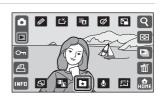
- お気に入りフォルダーのアイコンは、内蔵メモリーまたはSDカードごとに設定してください。
- 内蔵メモリーのお気に入りフォルダーアイコンを変更するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- アイコン設定をしていない内蔵メモリーまたは SD カードのお気に入りフォルダーは、数字アイコン（初期設定）で表示されます。

画像をお気に入りフォルダーに分類する

撮影した画像をお気に入りフォルダーに登録して分類できます。お気に入りフォルダーに登録しておくと、画像を探すときに見つけやすくなります。

1 再生モード（□32）、オート分類再生モード（□84）または撮影日一覧モード（□87）で登録したい画像を1コマ表示する

2 INFO をタッチしてアイコンを表示し、★ をタッチする

- お気に入り登録画面が表示されます。

3 画像を登録したいお気に入りフォルダーをタッチする

- お気に入りフォルダーに画像が登録されます。
- ★ をタッチすると、お気に入りフォルダーに登録せずに再生画面に戻ります。

お気に入り登録についてのご注意

- 1つのお気に入りフォルダーに登録できる画像は、最大200コマです。
- 選んだ画像がすでにお気に入りフォルダーに登録されているときは、登録されているお気に入りフォルダーのアイコンが黄色になります。
- 1つの画像を複数のお気に入りフォルダーに登録できます。
- 画像をお気に入りフォルダーに登録しても、画像ファイルは記録したフォルダー（□159）からコピーも移動もされません（□83）。
- 動画はお気に入りフォルダーに登録できません。

関連ページ

お気に入り登録を解除する→□82

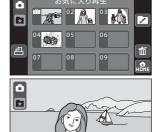
お気に入りフォルダーの画像を再生する

「★お気に入り再生モード」にすると、画像を登録したお気に入りフォルダーを選んで画像を表示できます。1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、拡大表示、サムネイル表示、画像の編集などができます。また、同じお気に入りフォルダーの画像だけでスライドショーができます。

1 再生時に再生モードアイコンをタッチして再生モードの選択アイコンを表示し、★をタッチする

- お気に入りフォルダーが一覧表示されます。
  画像が登録されたお気に入りフォルダーは、フォルダー内の画像が表示されます。
- 再生モードは、HOME画面でも切り換えできます（□14）。

2 表示したいお気に入りフォルダーをタッチする

- 選んだお気に入りフォルダーの画像が、1 コマ表示されます（□89）。
- お気に入りフォルダーを選び直すときは、手順1～2を繰り返してください。

お気に入り登録を解除する

画像を削除しないでお気に入りフォルダーから画像の登録を解除したいときは、以下のように操作してください。

お気に入り再生モードの1コマ表示（□81 手順2）で解除したい画像を選び、★をタッチすると、登録解除の確認画面が表示されます。

- ［**はい**］をタッチし、登録を解除します。解除をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。

削除についてのご注意

お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像も削除されますのでご注意ください（□83）。

お気に入り再生モードの操作

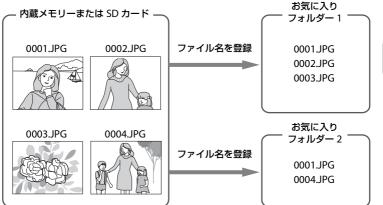
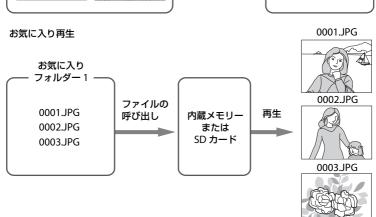
お気に入りフォルダーの一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	□
お気に入りフォルダーのアイコンを変更する	✎	お気に入りフォルダーのアイコンを変更します。	79
フォルダーごとに画像を削除する	🗑	選んだフォルダーに登録した画像をすべて削除します。	96
プリント指定をする	🖶	選んだフォルダーに登録した画像をすべてプリント指定します。	104
再生モードを切り換える	★	再生モードの選択アイコンを表示します。	77
撮影モードに切り換える	撮影モードアイコン	画面左上の撮影モードアイコンをタッチするか、シャッターボタンを押します。	–

お気に入りの登録/再生について

画像をお気に入りに登録しても、画像ファイルは記録したフォルダー（🕮159）からお気に入りフォルダーへコピーも移動もされません。お気に入りフォルダーには、画像のファイル名が登録されます。お気に入り再生モードは、お気に入りフォルダーに登録されているファイル名から画像を呼び出して再生します。
お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像が削除されますのでご注意ください。

お気に入り登録

お気に入り再生

オート分類再生で画像を探す

画像や動画は、撮影時に以下のいずれかの項目に自動的に分類されます。「オート分類再生モード」にすると、撮影時に分類された項目を選んで画像や動画を表示できます。

笑顔	人物	料理
風景	夜景	接写
動画	編集済み画像	その他の画像

1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、拡大表示、サムネイル表示、画像の編集または動画再生などができます。お気に入りフォルダーへの分類もできます。また、同じ分類の画像だけでスライドショーができます。

オート分類再生モードで画像を表示する

1 再生時に再生モードアイコンをタッチして再生モードの選択アイコンを表示し、をタッチする

- 分類項目の一覧画面が表示されます。
- 撮影画像のある分類には、画像が表示されます。
- 再生モードは、HOME画面でも切り換えできます（□14）。

2 表示したい項目をタッチする

- 分類項目についての詳細は、「分類の種類と内容」（□85）をご覧ください。

- 選んだ項目の画像が 1 コマ表示されます（□89）。
- 分類項目を選び直すときは、手順1～2を繰り返してください。

分類の種類と内容

項目	内容
笑顔	［**笑顔自動シャッター**］で自動撮影した画像。
人物※	（らくらくオート撮影）モード（□26）で（ポートレート）、（夜景ポートレート）、（逆光）に切り換わって撮影した画像。 （オート撮影）モード（□37）で顔認識撮影した画像。 シーンモード（□38）の［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**パーティー**］、［**逆光**］で撮影した画像。
風景	（らくらくオート撮影）モード（□26）で（風景）に切り換わって撮影した画像。 シーンモード（□38）の［**風景**］で撮影した画像。
夜景	（らくらくオート撮影）モード（□26）で（夜景）に切り換わって撮影した画像。 シーンモード（□38）の［**夜景**］、［**夕焼け**］、［**トワイライト**］、［**打ち上げ花火**］で撮影した画像。
接写	（らくらくオート撮影）モード（□26）で（クローズアップ）に切り換わって撮影した画像。 （オート撮影）モードでマクロ（□67）に設定して撮影した画像。 シーンモード（□38）の［**クローズアップ**］で撮影した画像。
料理	シーンモード（□38）の［**料理**］で撮影した画像。
動画	動画モード（□122）で撮影した動画。
編集済み画像	画像編集（□109）で作成した画像。
その他の画像	他の分類項目に該当しない画像。

※［**笑顔自動シャッター**］で自動撮影した画像を除く。

オート分類再生モードについてのご注意

- 1つの分類項目で表示できるのは、最大999コマです。撮影時にすでに999コマある分類項目に該当した画像/動画は、オート分類再生モードに登録できず、オート分類再生モードで表示できません。通常の再生モード（□32）または撮影日一覧モード（□78）で表示してください。
- 内蔵メモリーまたはSD カードからコピーした画像や動画（□156）は、オート分類再生モードでは表示できません。
- COOLPIX S70以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

いろいろな再生

オート分類再生モードの操作

オート分類再生の一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	📖
分類ごとに画像を削除する	🗑	選んだ分類の画像をすべて削除します。	96
プリント指定をする	🖨	選んだ分類の画像を、すべてプリント指定します。	104
再生モードを切り換える	AUTO	再生モードの選択アイコンを表示します。	77
撮影モードに切り換える	撮影モードアイコン	画面左上の撮影モードアイコンをタッチするか、シャッターボタンを押します。	–

同じ撮影日の画像だけを再生する（撮影日一覧モード）

「撮影日一覧モード」にすると、同じ撮影日の画像だけを再生できます。1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、拡大表示、サムネイル表示、画像の編集または動画再生などができます。お気に入りフォルダーへの分類もできます。また、同じ撮影日の画像だけでスライドショーができます。

撮影日一覧モードで日付を選ぶ

1 再生時に再生モードアイコンをタッチして再生モードの選択アイコンを表示し、をタッチする

- 撮影画像のある日付が撮影日として一覧表示されます。
- 再生モードは、HOME画面でも切り換えできます（□14）。

2 表示したい日付をタッチする

- 表示される撮影日は最大 29 日分までです。撮影日が30日以上あると、［**過去画像**］として30日以降の画像がすべてまとめられます。

- 選んだ日に最初に撮影した画像が、1コマ表示されます（□89）。
- 日付を選び直すときは、手順1～2を繰り返してください。

撮影日一覧モードについてのご注意

- 撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000 コマまでです。9,001コマ目を含む日付の画像枚数表示には、「＊」マークが表示されます。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、2009年1月1日の画像として扱われます。

撮影日一覧モードの操作

撮影日の一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	📖
画面をスクロールする	◀▶	画面をスクロールします。	–
撮影日ごとに画像を削除する	🗑	選んだ日付の画像をすべて削除します。	96
プリント指定をする	🖶	選んだ日付の画像を、すべてプリント指定します。	104
再生モードを切り換える	📅	再生モードの選択アイコンを表示します。	77
撮影モードに切り換える	撮影モードアイコン	画面左上の撮影モードアイコンをタッチするか、シャッターボタンを押します。	–

1コマ表示中の操作

1コマ表示中は、画像をドラッグすると、前後の画像を表示できます。2本指で画像をドラッグすると、よりはやく画像を送ることができます。

1コマ表示中に INFO をタッチして画像情報をONにすると（□8）、設定アイコンで以下の機能が使えます。

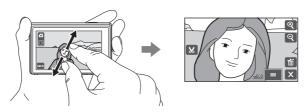
機能	アイコン	内容	□
画像を拡大する	🔍	最大約10倍までの倍率に拡大します。画像に2本の指を触れたまま、指の間隔を広げても拡大できます。✕をタッチすると、1コマ表示に戻ります。	91
サムネイル表示する	⊞	6コマ、12コマ、または20コマのサムネイル画像を表示します。画像に2本の指を触れたまま、つまむように狭めてもサムネイル表示にできます。	93
スライドショーを再生する	▶	記録した画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	98
画像を削除する	🗑	表示中の画像を削除します。	32
HOME画面に切り換える	HOME	HOME画面にすると、撮影モードや再生モードの選択、セットアップメニューへの切り換えができます。	14

機能	アイコン	内容	📖
画面表示を切り換える	INFO	INFO をタッチするたびに、画像情報ON →設定アイコンON →情報OFFの3種類に切り換わります。設定アイコンを表示すると、再生に関する設定（📖97）や画像の編集（📖109）ができます。	9
撮影モードに切り換える	撮影モードアイコン	画面左上の撮影モードアイコンをタッチします。シャッターボタンを押しても、撮影モードに切り換わります。	–
再生モードを切り換える	再生モードアイコン	再生モードの選択アイコンを表示します。	77

画像の再生について

- 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- お気に入り再生モード（📖82）、オート分類再生モード（📖86）、撮影日一覧モード（📖88）の場合、選択したフォルダー、分類、または日付内の画像のみを再生します。
- カメラを縦に構えて撮影した画像（縦位置の画像）は、自動的に回転して表示されます（📖13）。回転方向は、[**画像回転**]（📖106）で変更できます。
  カメラ本体を回転すると、画像も回転して表示されます（📖13）。
- 節電による待機状態でモニターが消灯しているときは、シャッターボタンを押すと、モニターが点灯します（📖149）。

画像を拡大表示する

1コマ表示（📖89）で画像に2本の指を触れたまま、指の間隔を広げると、表示中の画像が拡大表示されます。
画面右下のガイドは、画像のどの部分を表示しているかを示しています。

- 1コマ表示で🔍をタッチしても拡大表示します。🔍が表示されていないときは、INFOをタッチしてください。

拡大表示では、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	📖
拡大倍率を上げる	🔍	🔍をタッチします。画像に2本の指を触れたまま、指の間隔を広げても拡大倍率が上がります。約10倍まで拡大できます。	–
拡大倍率を下げる	🔍	🔍をタッチします。画像に2本の指を触れたまま、つまむように狭めても拡大倍率が下がります。倍率が1倍になると、1コマ表示に戻ります。	–
表示範囲を移動する	–	画像をドラッグすると、表示範囲を移動できます。	–
画像を削除する	🗑	表示中の画像を削除します。	32
1コマ表示に戻る	✕	✕をタッチします。	89
画像の一部を切り抜く（トリミング）	✂	拡大表示した部分だけを別画像として保存します。	121
撮影モードに切り換える	–	シャッターボタンを押します。	–

顔認識して撮影した画像の場合

顔認識（□28）して撮影した画像は、1コマ表示で🔍をタッチすると、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（▣［**連写**］、BSS［**BSS**］、▦［**マルチ連写**］（□68）で撮影した画像を除く）。

- 複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、◧または◨をタッチすると表示する顔が切り換わります。
- さらに🔍または🔍をタッチすると拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示）

1コマ表示（□89）で画像に2本の指を触れたまま、つまむように狭めると、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

- 1コマ表示で ▣ をタッチしてもサムネイル表示します。▣ が表示されていないときは、INFO をタッチしてください。

サムネイル表示では、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	□
画面をスクロールする	◀▶	◀または▶をタッチするか､画面下のスライダーをドラッグします。	–
表示コマ数を増やす	🔍−	6→12→20コマ表示に切り換わります。画像に2本の指を触れたまま、つまむように狭めても表示コマ数を増やせます。	–
表示コマ数を減らす	🔍+	20→12→6→1コマ表示に切り換わります。画像に2本の指を触れたまま、指の間隔を広げても表示コマ数を減らせます。	
画像をプロテクトする	O‒	複数の画像を一度にプロテクトできます。	100
プリント指定する	🖶	複数の画像を一度にプリント指定できます。	102
スライドショーを再生する	▣	記録した画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	98
画像を削除する	🗑	複数の画像を一度に削除できます。	95
1コマ表示にする	–	画像をタッチすると、その画像の1コマ表示になります。	–
HOME画面に切り換える	HOME	HOMEをタッチすると、HOME画面に切り換わります。	14

機能	アイコン	内容	📖
撮影モードに切り換える	撮影モードアイコン	撮影モードアイコンをタッチするか、シャッターボタンを押します。	–
再生モードを切り換える	再生モードアイコン	再生モードの選択アイコンを表示します。	77

サムネイルの動画表示について

動画は、映画フィルムの1コマのように表示されます。

複数の画像を削除する

複数の画像を一度に削除できます。

1 サムネイル表示にして（□93）、🗑をタッチする

- ［**削除画像選択**］画面に切り換わります。

2 削除したい画像をタッチする

- 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- 🔍または🔍をタッチすると、画面に表示するコマ数を切り換えできます。

- すべての画像を削除するときはALLをタッチしてください。お気に入り再生、オート分類再生、撮影日一覧モードのときは、再生中の分類または撮影日の画像がすべて削除されます。

3 OKをタッチする

4 ［**はい**］をタッチする

- 画像が削除されます。
- 削除をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。

✓ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せないため、ご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- プロテクト設定されている画像は削除できません。
- お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像も削除されますのでご注意ください（□83）。

フォルダーや分類、撮影日単位で削除する

お気に入り再生モードのフォルダーやオート分類再生モードの分類、撮影日一覧モードの日付単位で画像を削除できます。

1 お気に入りフォルダーの一覧画面、オート分類再生の一覧画面、または撮影日の一覧画面で🗑をタッチする

- お気に入りフォルダーの一覧画面（□81）で🗑をタッチすると、選んだフォルダー内のすべての画像を削除できます。
- オート分類再生の一覧画面（□84）で🗑をタッチすると、選んだ分類内のすべての画像を削除できます。
- 撮影日の一覧画面（□87）で🗑をタッチすると、選んだ日付内のすべての画像を削除できます。

2 画像を削除したいフォルダー、分類、または日付をタッチし、OKをタッチする

- 選んだフォルダー、分類、または日付には、チェックマークが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

- 画像が削除されます。
- 削除をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。

いろいろな再生

再生に関する設定

設定の種類

再生モードで、INFOをタッチして設定アイコンを表示すると、画像に対して設定や編集ができます。

- 再生中の画像の種類やカメラの状態によって、操作できる項目や表示は異なります。

1	プロテクト設定	99
2	プリント指定	101
3	画像回転	106
4	スリム効果 アオリ効果	118 119
5	お気に入りフォルダーへの登録（お気に入り再生モード以外） お気に入りフォルダーからの解除（お気に入り再生モード）	80 82
6	音声メモ	107
7	美肌	120
8	削除	32
9	スライドショー	98
10	サムネイル表示	93
11	拡大表示	91
12	スモールピクチャー	117
13	ピクチャーカラー	116
14	D-ライティング	115
15	簡単レタッチ	114
16	ペイント	111

スライドショーを楽しむ

内蔵メモリー/SDカードに記録した画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

再生画面で をタッチして設定します。

1 ［開始］をタッチする

- 繰り返し再生するには、［**開始**］をタッチする前に［**エンドレス**］をタッチし、チェックボックスをオン［✔］にします。
- をタッチすると、カメラに内蔵されたサンプル画像をエンドレスで再生します。
- をタッチすると、スライドショーを再生せずに再生画面に戻ります。

2 スライドショーが始まる

- モニターをタッチすると、操作アイコンが表示されます。をタッチすると、操作アイコンが非表示になります。

操作アイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容
音量		BGMの音量を調節できます。
1コマ戻る		タッチすると、1コマ戻ります。触れ続けると、連続してコマ戻しします。
1コマ進む		タッチすると、1コマ進みます。触れ続けると、連続してコマ送りします。
一時停止		タッチすると、一時停止します。
再生を再開する		タッチすると、再生を再開します。
再生終了		タッチすると、スライドショーを終了します。

スライドショーについてのご注意

- 動画（□125）は1フレーム目だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大約30分です（□149）。

大切な画像を保護（プロテクト）する

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。プロテクト設定した画像は、再生画面（画像情報ON時）で⊶が表示されます（□13）。

1コマだけ保護（プロテクト）する

1 プロテクトする画像を1コマ表示し、INFOをタッチする

2 ⊶をタッチする

3 ［ON］をタッチする

- 画像がプロテクトされます。
- プロテクトを解除するときは［**OFF**］をタッチします。
- ⊶をタッチすると、プロテクト設定せずに再生画面に戻ります。

複数の画像を保護（プロテクト）する

複数の画像を一度にプロテクトできます。

1 サムネイル表示にして（□93）、□を タッチする

- ［**プロテクト画像選択**］画面に切り換わります。

2 プロテクトしたい画像をタッチする

- 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- □または□をタッチすると、画面に表示するコマ数を切り換えできます。

3 □をタッチする

- 画像がプロテクトされます。
- プロテクトをやめるときは、□をタッチします。

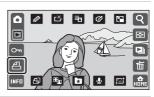
プロテクト設定についてのご注意

内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、□150）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

SDカードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）

DPOF（□177）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントする際は、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます（最大99コマ、各9枚まで）。
プリント指定で設定した画像の選択やプリント枚数で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続してプリントすることもできます。カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます。

1コマだけプリント指定する

1 プリントする画像を1コマ表示し、INFOをタッチする

2 🖨をタッチする

3 プリントする枚数をタッチし、OKをタッチする

- 今回のプリント指定を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、右の画面が表示されます。
  - ［**はい**］を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
  - ［**キャンセル**］を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。
- 🖨をタッチすると、プリント指定せずに再生画面に戻ります。

4 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］をタッチすると、撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］をタッチすると、撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- OKをタッチして、設定を有効にします。

複数の画像をプリント指定する

1 サムネイル表示にして（□93）、🖨をタッチする

- プリント指定画面に切り換わります。

2 プリントしたい画像（最大99コマまで）をタッチして選び、▲または▼をタッチしてプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- 🔍または🔍をタッチすると、画面に表示するコマ数を切り換えできます。
- RESETをタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。
- 設定が終了したらOKをタッチします。

3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］をタッチすると、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］をタッチすると、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- OK をタッチして、設定を有効にします。

プリント指定をすべて取り消すには

手順2で RESET をタッチします。表示される確認画面で［**はい**］をタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

画像をプリントするときのご注意

［**画像モード**］を［**16:9(3968)**］（初期設定）にして撮影した画像をプリントすると、画像の端が削られ、画像全体がプリントできないことがあります（132）。

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応（177）プリンターで印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOF プリント」（138）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］メニューを表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**日時設定**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

プリント指定した画像について

［**プリント指定**］した画像は、再生画面（画像情報ON時）で確認できます（13）。

「デート写し込み」について

DATE［**デート写し込み**］（74、146）を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

フォルダーや分類、撮影日単位でプリント指定する

お気に入り再生モードのフォルダーやオート分類再生モードの分類、撮影日一覧モードの日付単位でプリント指定できます。

1 お気に入りフォルダーの一覧画面、オート分類再生の一覧画面、または撮影日の一覧画面で🖨をタッチする

- お気に入りフォルダーの一覧画面（📖81）で🖨をタッチすると、選んだフォルダー内のすべての画像をプリント指定できます。
- オート分類再生の一覧画面（📖84）で🖨をタッチすると、選んだ分類内のすべての画像をプリント指定できます。
- 撮影日の一覧画面（📖87）で🖨をタッチすると、選んだ日付内のすべての画像をプリント指定できます。

2 画像をプリント指定したいフォルダー、分類、または日付と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- フォルダー、分類、または日付をタッチして選び、▲または▼をタッチしてプリント枚数を設定します。
- 選んだフォルダー、分類、または日付には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、選択を解除できます。
- 選んだフォルダー、分類、または日付内の画像のコマ数が100コマ以上あるときは、古い画像から99コマまでが指定されます。
- 設定が終了したらOKをタッチします。

- 選んだフォルダー、分類または撮影日以外の画像がすでにプリント指定されていると、右の画面が表示されます。
  - ［**はい**］を選ぶと、他の画像のプリント指定に今回の設定内容を追加します。
  - ［**いいえ**］を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。

- 今回のプリント指定を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、右の画面が表示されます。
  - ［**はい**］を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
  - ［**キャンセル**］を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。

3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］をタッチすると、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］をタッチすると、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- OK をタッチして、設定を有効にします。

画像を回転する

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

再生画面で をタッチして設定します。

またはをタッチすると90度回転します。

をタッチすると、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

画像に音声メモを付ける

撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

音声メモを録音する

再生画面で 🎙 をタッチして設定します。

■をタッチして音声メモを録音します。

- 約20 秒まで音声メモを録音できます。
- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中はRECが点滅します。
- 録音中に ■ をタッチすると、録音が終了します。
- 録音が終了すると、音声メモ再生画面になります。▶をタッチすると、音声メモを再生できます（□108）。
- ✕をタッチすると、1コマ表示に戻ります。

 関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□159

音声メモを再生する

音声メモを録音した画像には、再生画面（画像情報ON時）で♪が表示されます（□13）。

再生画面で 🎙 をタッチして設定します。

▶をタッチして音声メモを再生します。

- 再生を途中で止めるには、■をタッチします。
- 再生中は、音量アイコンをタッチして音量を調節できます。
- ✕ をタッチすると、1コマ表示に戻ります。

音量アイコン

音声メモを削除する

音声メモの再生画面で🗑をタッチします。［**はい**］をタッチすると、音声メモだけを削除します。

✔ 音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S70以外で撮影した画像には、COOLPIX S70で音声メモを付けられません。

画像編集の種類

このカメラでは以下の機能を使って、画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別の画像として、別のファイル名で保存されます（□159）。

編集の種類	用途
ペイント（□111）	画像に絵を描いたり、スタンプを押したりします。
簡単レタッチ（□114）	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング（□115）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
ピクチャーカラー（□116）	画像の色調を変えます。色を鮮やかにしたり、白黒にしたりできます。
スモールピクチャー（□117）	小さいサイズの画像を作成します。メールに添付して送信するときなどに使います。
スリム効果（□118）	画像を横方向に伸縮します。人物を細く見せたり、太く見せたりするときなどに使います。
アオリ効果（□119）	横位置で撮影した画像の遠近感を強めたり、弱めたりします。シフトレンズのようなアオリ効果があります。建物を撮影したときなどに使います。
美肌（□120）	人物の顔の肌をなめらかにします。
トリミング（□121）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像編集についてのご注意

- このカメラ以外で撮影した画像は、編集できません。
- このカメラ以外のデジタルカメラでは、このカメラで編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、美肌の編集はできません（□120）。
- 手書きメモ（□45）で作成した画像には、ペイント、スモールピクチャー、またはトリミングだけが使えます。

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
ペイント	ペイント、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
簡単レタッチ **D-ライティング** **ピクチャーカラー** **スリム効果** **アオリ効果**	ペイント、スモールピクチャー、美肌またはトリミングができます。
スモールピクチャー	追加編集できません。
美肌	美肌以外の編集ができます。
トリミング	追加編集できません。ただし、16：9の画像、および640×480以上の画像サイズで保存された画像にはペイントができます。

- ペイントを除き、編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ［**プリント指定**］（□101）や［**プロテクト設定**］（□99）された画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

画像を編集する

画像にペイントする

画像に絵を描いたり、スタンプを押したりできます。撮影日のスタンプを押すこともできます。ペイントした画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

再生画面で をタッチして編集します。

1 、、、、を使ってペイントする

- ペイントツールの使い方→ 112
- をタッチすると、画像を 3 倍に拡大表示してペイントできます。表示範囲を移動するときは、をタッチします。をタッチすると、拡大表示を終了します。

2 をタッチする

- をタッチする前にをタッチすると、ペン、消しゴム、スタンプ、明るさブラシで描いた動作を取り消して、ひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。

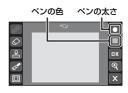
3 ［はい］をタッチする

- ペイント画像が作成されます。
- 画像モードが［**16:9(3968)**］の画像は、1920×1080の画像サイズで保存されます。［**エコノミー(2048)**］以上の画像は2048×1536、［**PC(1024)**］、［**TV(640)**］は640×480の画像サイズで保存されます。
- 作成をやめるときは［**いいえ**］をタッチします。
- ペイントした画像は、再生画面（画像情報ON時）でが表示されます（13）。

ペイントツールの使い方

文字や絵を描く

をタッチすると、文字や絵を描けます。
「ペンの太さ」アイコンをタッチすると、ペンの太さを選べます。
「ペンの色」アイコンをタッチすると、ペンの色を選べます。

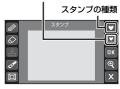
文字や絵を消す

をタッチすると、画像に描いた線やスタンプを消せます。
「消しゴムの大きさ」アイコンをタッチすると、消しゴムの大きさを選べます。

スタンプを押す

をタッチすると、スタンプを押せます。

- 「スタンプの種類」アイコンをタッチすると、14種類のスタンプから選べます。DATEを選ぶと、撮影日のスタンプを押せます。
- 「スタンプの大きさ」アイコンをタッチすると、スタンプのサイズを選べます。「スタンプの種類」でDATEを選んだときは、DATE（年・月・日）とDATE（年・月・日・時刻）を選べます。

部分的に明るさを変える

をタッチして、画像をタッチすると、タッチした部分を明るくしたり暗くしたりできます。同じ場所を何度もタッチすると、より効果を出せます。

- 「ブラシの太さ」アイコンをタッチすると、明るさブラシの太さを選べます。
- 「ブラシの種類」アイコンをタッチすると、明るくするブラシと暗くするブラシを選べます。

フレームを付ける

をタッチすると、画像にフレームを付けられます。

- またはをタッチすると、7種類のフレームが順番に表示されます。OKをタッチすると、フレームを決定します。

撮影日スタンプについてのご注意

- [**画像モード**]（64）がTV[**TV（640）**]の画像に撮影日のスタンプを押すと、日付が読みづらいことがあります。撮影日のスタンプはPC[**パソコン（1024）**]以上で撮影した画像に押してください。
- 年月日の並びは、セットアップメニューの[**日時設定**]（22、143）での設定と同じになります。
- スタンプできる日時は、撮影時点でカメラに設定されていた日時です。スタンプする日時は変更できません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→159

コントラストと鮮やかさを高める（簡単レタッチ）

コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を、簡単に作成できます。簡単レタッチで作成した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

再生画面で をタッチして編集します。

1 効果の強さを選び、OKをタッチする

2 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます（作成が完了するまでに時間がかかることがあります）。
- 作成をやめるときは［**いいえ**］をタッチします。
- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面（画像情報ON時）でが表示されます（□13）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□159

画像の暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。D-ライティングで補正した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

再生画面で をタッチして編集します。

1 をタッチする

- D-ライティングを中止するときは、をタッチします。

2 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- 作成をやめるときは［**いいえ**］をタッチします。
- D-ライティングで作成した画像は、再生画面（画像情報ON時）でが表示されます（□13）。

画像の編集

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□159

画像の色調を変える（ピクチャーカラー）

撮影した画像の色調を変えます。ピクチャーカラーで作成した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

再生画面で をタッチして編集します。

1 作成したいピクチャーカラーのアイコンをタッチして をタッチする

種類	内容
ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
白黒	白黒写真になります。
セピア	セピア色になります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

2 ［はい］をタッチする

- ピクチャーカラーで色調を変えた画像が作成されます。
- 作成をやめるときは［**いいえ**］をタッチします。
- ピクチャーカラーで作成した画像は、再生画面（画像情報ON時）でが表示されます（□13）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□159

小さいサイズの画像を作成する（スモールピクチャー）

撮影した画像から、小さいサイズの画像を新しく作ります。元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

再生画面で をタッチして編集します。

1 作成したいスモールピクチャーのサイズのアイコンをタッチして をタッチする

種類	内容
640×480	テレビでの表示に適しています。
320×240	ホームページでの使用に適しています。
160×120	電子メールへの添付に適しています。

- 画像モードが [**16:9(3968)**] の画像は、スモールピクチャーのサイズは選べません。1920×1080のサイズになります。 をタッチして手順2へ進んでください。

2 ［**はい**］をタッチする

- スモールピクチャーが作成されます。
- 作成をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。
- スモールピクチャーで作成した画像は、グレーの枠で囲まれて表示されます。画像情報ON時は 、 または が表示されます（13）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→159

画像を伸縮させる（スリム効果）

画像を横方向に伸縮します。スリム効果で編集した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

再生画面で をタッチして編集します。

1 をタッチする

- をタッチすると、編集せずに再生画面に戻ります。

2 スライダーをドラッグして、スリム効果を調節する

3 をタッチする

4 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- 作成をやめるときは［**いいえ**］をタッチします。
- スリム効果で作成した画像は、再生画面（画像情報ON時）で が表示されます（13）。

関連ページ

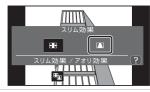
記録データのファイル名とフォルダー名→159

遠近効果をつける（アオリ効果）

横位置で撮影した画像の遠近感を強めたり、弱めたりします。アオリ効果で編集した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

再生画面で をタッチして編集します。

1 をタッチする

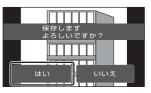
- をタッチすると、編集せずに再生画面に戻ります。

2 スライダーをドラッグして、アオリ効果を調節する

3 をタッチする

4 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- 作成をやめるときは［**いいえ**］をタッチします。
- アオリ効果で作成した画像は、再生画面（画像情報ON時）でが表示されます（13）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→159

肌をなめらかにする（美肌）

撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。美肌で作成した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

- 画像から人物の顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、1コマ表示に戻ります。

再生画面で をタッチして編集します。

1 効果の強さを選び、OKをタッチする

- 確認画面になり、美肌編集した顔が拡大表示されます。

2 効果を確認する

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- 美肌編集した顔が複数あるときは、またはをタッチすると、顔の切り換えができます。

- 効果の度合いを変えたいときは、Xをタッチすると、手順1に戻ります。
- OKをタッチすると編集した画像が作成されます。
- 美肌で作成した画像は、再生画面（画像情報ON時）でが表示されます（□13）。

美肌についてのご注意

顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、撮影時の画面でカメラが顔を認識していても、美肌機能をかける顔を適切に検出できないことや顔以外の部分が画像処理されるなど、望ましい効果が得られないことがあります。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□159

画像の一部を切り抜く（トリミング）

画像を拡大表示にして（□91）、モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1コマ表示で画像を拡大表示する（□91）

- 画面左に が表示される拡大率にしてください。

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- または をタッチして拡大率を調節します。
- 画像をドラッグして表示範囲を移動します。
- 画像モードが [**16:9(3968)**]の画像は、2.0倍以下の拡大倍率でトリミングできます。

3 をタッチする

- 画像モードが [**16:9(3968)**]の画像は、縦横比が16：9のサイズでトリミングされます。画像モードが [**16:9(3968)**]以外の画像は、縦横比が4：3のサイズでトリミングされます。

4 ［はい］をタッチする

- トリミング画像が作成されます。
- 作成をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。
- トリミングで作成した画像は、再生画面（画像情報ON時）で が表示されます（□13）。

トリミングについてのご注意

- 縦位置の画像も横位置の画像と同じ向きで拡大表示されます。
- 縦横の比率を変えてトリミングすることはできません。

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。

トリミングした画像サイズが320×240または160×120のときは、再生画面（画像情報ON時）にスモールピクチャーの または アイコンが表示されます（□13）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□159

画像の編集

動画を撮影する

動画（音声付き）を撮影できます。

1 撮影時に撮影モードアイコンをタッチして撮影モードの選択アイコンを表示し、🎥をタッチする

- 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズが2GBまで、または最大25分までです。
- 記録可能時間がモニターに表示されます（📖123）。
- 撮影モードは、HOME画面でも切り換えできます（📖14）。

2 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- ピントは画面中央にある被写体に合います。
- 記録可能な残り時間の目安をモニターで確認できます。
- 撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。
- 画面をタッチしても動画の撮影開始/終了ができます。
- 記録可能な残り時間がなくなると、撮影が自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

動画撮影を開始すると光学ズームは使えません。電子ズームは動画撮影の開始前は使えませんが、動画撮影中は2倍まで作動します。

動画の記録についてのご注意

撮影終了後、撮影画面になるまでは、動画の記録中です。**バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。**動画の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

動画撮影の設定を変更する

動画モードでは、[**動画設定**]、[**AFモード**]、[**マクロ**]の設定を変更できます。動画撮影中は設定を変更できません。撮影を開始する前に設定してください。

動画撮影の設定を変更する

動画モードでは、[動画設定]、[AFモード]、[マクロ] を変更できます。撮影前にアイコンをタッチして、設定を変更します。

動画設定

撮影する動画の種類を選びます。

撮影画面で をタッチして設定します。

種類	画像サイズとフレーム数
HD720p	画像サイズ：1280×720ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒
TV再生 640★ （初期設定）	画像サイズ：640×480ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒
TV再生 640	画像サイズ：640×480ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒
カメラ再生 320★	画像サイズ：320×240ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒
カメラ再生 320	画像サイズ：320×240ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒

動画の記録可能時間/フレーム数

種類	内蔵メモリー（約20 MB）	SDカード（512 MB）
HD720p	6秒	約2分30秒
TV再生 640★ （初期設定）	18秒	約7分20秒
TV再生 640	35秒	約14分10秒
カメラ再生 320★	35秒	約14分10秒
カメラ再生 320	1分7秒	25分

※ 数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズが2GBまで、または最大25分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→159

AFモード

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

撮影画面で をタッチして設定します。

AF-S	**シングルAF（初期設定）**
	シャッターボタンを押したときのピントに固定します。
AF-F	**常時AF**
	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。撮影中にピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］に設定して撮影することをおすすめします。

マクロ（接写）の設定をする

最短約3 cmまで被写体に近づいて撮影できます。

撮影画面で をタッチして設定します。

ON	ON
	マクロモードにします。詳しくは、67ページをご覧ください。
OFF	**OFF（初期設定）**
	マクロモードをOFFにします。

動画を再生する

再生モードに切り換えて（□32）、再生したい動画を1コマ表示します。INFOをタッチして、設定アイコンを表示し、画面右上の▶をタッチして、動画の再生を開始します。

- 画像をタッチしても、再生を開始できます。

再生中に音量アイコンをタッチすると、音量の設定アイコンが表示され、音量を調節できます。
画面右側には操作パネルが表示されます。操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

動画再生中

<table>
<tr><th>機能</th><th>アイコン</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>巻き戻し</td><td></td><td colspan="2">タッチしている間、巻き戻します。</td></tr>
<tr><td>早送り</td><td></td><td colspan="2">タッチしている間、早送りします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">一時停止</td><td rowspan="4"></td><td colspan="2">タッチすると、一時停止します。
一時停止中に、画面右側の操作アイコンで、以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると、1コマ戻ります。触れ続けると、連続してコマ戻しします。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると、1コマ進みます。触れ続けると、連続してコマ送りします。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると、再生を再開します。</td></tr>
<tr><td>再生終了</td><td></td><td colspan="2">タッチすると、1コマ表示に戻ります。</td></tr>
</table>

動画ファイルを削除する

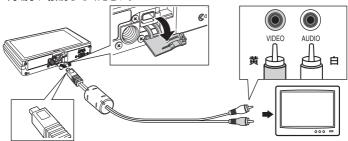
1コマ表示（□89）時や動画再生中に🗑をタッチすると、削除確認画面が表示されます。
［**はい**］をタッチして、動画ファイルを削除します。削除をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。

テレビに接続する

カメラを付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）でテレビに接続すると、テレビ画面で、撮影した画像の1コマ表示、スライドショー、動画の再生ができます。

1 スライドカバーを閉じてカメラの電源を OFF にする

2 カメラとテレビを接続する

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 スライドカバーを開いてカメラの電源をONにする

- ▶をタッチしてカメラを再生モードにします。
  撮影した画像がカメラのモニターとテレビに表示されます。
- 撮影モード時、セットアップメニュー表示時などは、テレビに表示できません。

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

画像がテレビに映らないときは

セットアップメニュー（□139）→［**ビデオ出力**］（□151）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続すると、ソフトウェア「Nikon Transfer」を使って、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

ソフトウェアをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のSoftware Suite CD-ROM を使って、パソコンに「Nikon Transfer」や転送した画像を表示する「ViewNX」、パノラマ写真を作成する「Panorama Maker」などのソフトウェアをインストールします。
ソフトウェアのインストール方法は、簡単スタートガイドをご覧ください。

対応OS

Windows

32 bit 版のWindows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 1）、Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

Mac OS X（version 10.3.9、10.4.11、10.5.6）

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

パソコンに接続するときのご注意

市販のUSB充電器など、他のUSB機器はパソコンから取り外してください。USB機器によっては、同時に接続すると動作に不具合が発生することや、パソコンからの供給電力が過大になり、同時に接続したカメラ、SDカードなどが壊れるおそれがあります。お使いのUSB機器の説明書もご確認ください。

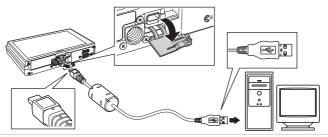
電源についてのご注意

- パソコンと接続して画像を転送するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］が［**AUTO**］（初期設定）のときは、カメラを起動済みのパソコンに付属のUSBケーブルで接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを自動的に充電できます（□152）。充電しながら画像を転送できます。
- 別売のAC アダプター EH-62F を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX S70へ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 Nikon Transferがインストールされているパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

4 カメラの電源が自動的にONになる

- 電源ランプが点灯または点滅します（□131）。カメラのモニターは消灯したままになります。
- カメラ内のバッテリー残量が少ないときは、パソコンでカメラを認識できず、画像を転送できないことがあります。パソコンからの電力でカメラ内のバッテリー充電が始まったときは、バッテリー残量が増えるまでお待ちください。
- **Windows Vistaの場合**：
  パソコンで［**自動再生**］ダイアログの［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする－ Nikon Transfer 使用**］をクリックし、Nikon Transfer を起動します。常にNikon Transfer で画像を転送する場合は、［**このデバイスの場合は常に次の動作を行う**］にチェックマークを入れてください。
- **Windows XPの場合**：
  起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたら、［**Nikon Transfer コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックしてNikon Transferを起動します。常にNikon Transferで画像を転送する場合は、［**この動作は常にこのプログラムを使う**］にチェックマークを入れてください。
- **Mac OS Xの場合**：
  Nikon Transferのインストールで、［**自動起動の設定**］を［**はい**］にした場合は、パソコンでNikon Transferが自動起動します。

5 オプションエリアの［**転送元**］パネル内に、接続したカメラ名のデバイスボタンが表示されていることを確認し、［**転送開始**］ボタンをクリックする

- 記録されているすべての画像がパソコンに転送されます（Nikon Transferの初期設定）
- 転送が終わると、ViewNXが自動的に起動します（Nikon Transferの初期設定）。転送した画像を確認できます。

- Nikon TransferまたはViewNXの操作方法については、Nikon TransferまたはViewNXのヘルプをご覧ください（□130）。

カメラとパソコンの接続を外すときは

- 転送中は、電源をOFFにしたり、カメラとパソコンの接続を外したりしないでください。
- 接続を外すときは、カメラのスライドカバーを開閉して電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- USBケーブルを接続したまま、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

バッテリーの充電について

カメラの電源ランプが、オレンジ色でゆっくり点滅しているときは、カメラ内のバッテリーを充電中です（📖131）。

カードリーダーを使う

Nikon Transferは、パソコンのカードリーダーなどの機器に入れたSDカード内の画像も転送できます。

- 2 GB 以上のSD カードやSDHC規格のSDカードをお使いの場合は、カードリーダーなどの機器がそれらのSD カードに対応している必要があります。
- カードリーダーなどに SD カードを挿入し、手順 4（📖128）以降を参照して、画像を転送してください。
- 内蔵メモリーのデータは、カメラでSDカードにコピーしてから（📖156）転送してください。

Nikon TransferまたはViewNXを手動で起動するには

- Windows ：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**Nikon Transfer**］→［**Nikon Transfer**］（または［**すべてのプログラム**］→［**ViewNX**］→［**ViewNX**］）の順にクリックします。デスクトップの［**Nikon Transfer**］または［**ViewNX**］のショートカットアイコンをダブルクリックしても起動できます。
- Mac OS X ：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Nikon Software**］→［**Nikon Transfer**］→［**Nikon Transfer**］（または［**Nikon Software**］→［**ViewNX**］→［**ViewNX**］）をダブルクリックします。Dock の［**Nikon Transfer**］または［**ViewNX**］アイコンをクリックしても起動できます。

Nikon TransferまたはViewNXの詳しい使い方（ヘルプ）を見るには

Nikon Transfer またはViewNX を起動して、メニューバーの［**ヘルプ**］→［**Nikon Transfer ヘルプ**］または［**ViewNX ヘルプ**］を選ぶと、ヘルプ画面を表示して詳しい使い方を見ることができます。

パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker）

- シーンモードの［**パノラマアシスト**］機能（📖44）を使って撮影した画像を、Panorama Makerを使ってパノラマ写真に合成できます。
- Panorama Makerは、付属のSoftware Suite CD-ROMでインストールできます。
- Panorama Makerをインストールしたら、次のように起動します。
  Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ArcSoft Panorama Maker 4**］→［**Panorama Maker 4**］の順にクリックしてください。
  Macintosh：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Panorama Maker 4**］をダブルクリックしてください。
- Panorama Makerの使い方は、Panorama Makerの操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→📖159

パソコン接続時の充電について

カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（□152）が［**AUTO**］（初期設定）のときは、カメラを起動済みのパソコンに付属のUSBケーブルで接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを自動的に充電できます。
カメラをパソコンに接続する方法は、「カメラとパソコンを接続する前に」（□127）、「カメラからパソコンに画像を転送する」（□128）をご覧ください。

電源ランプについて

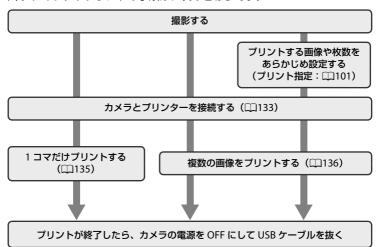
パソコンに接続しているときのカメラの電源ランプの状態と意味は以下のとおりです。

状態	意味
ゆっくり点滅（オレンジ色）	充電中です。
点灯（緑色）	充電していません。ゆっくりした点滅（オレンジ色）から点灯（緑色）に変わると、充電の完了です。
速い点滅（オレンジ色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。 • パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。 • パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

パソコンに接続して充電するときのご注意

- パソコンに接続しても、ご購入後にカメラの表示言語と日時（□22）を設定していないときは、充電やデータの転送はできません。また、バックアップ用電池（□144）が切れて日時がリセットされたまま再設定していないときも、充電やデータの転送はできません。本体充電ACアダプター EH-68Pでバッテリーを充電し（□18）、カメラの日時を設定してください。
- カメラのスライドカバーを開閉して電源をOFFにすると、バッテリーの充電も中止されます。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源がOFFになることがあります。
- カメラとパソコンの接続を外すときは、カメラのスライドカバーを開閉して電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約7時間です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電だけをしたいときに、カメラをパソコンに接続して、パソコンでNikon Transferなどが起動した場合は、これらの画面を閉じてください。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が 30 分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。
- パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。

プリンターに接続する

PictBridge（□177）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、次のとおりです。

電源についてのご注意

- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62Fを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）から COOLPIX S70へ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

画像をプリントするときのご注意

[**画像モード**]を[**16:9(3968)**]（初期設定）にして撮影した画像をプリントすると、画像の端が削られ、画像全体がプリントできないことがあります。
プリンターの設定を「フチあり」にすると画像全体をプリントできる場合があります。
縦横比16：9の画像にプリンターが対応しているかなど、詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

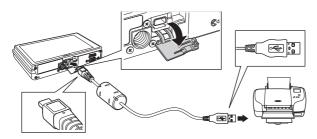
これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、カメラの［**プリント指定**］メニューを使って、あらかじめSDカードに設定できます（□101）。

カメラとプリンターを接続する

1 スライドカバーを閉じてカメラの電源を OFF にする

2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認してください。

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

4 カメラの電源が自動的にONになる

- 正しく接続されると、カメラのモニターに［**PictBridge**］画面（①）が表示された後、［**プリント画像選択**］画面（②）が表示されます。

①
②

ケーブルの取り付け/取り外しのご注意

- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを外すときは、カメラのスライドカバーを開閉して、電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。

PictBridge画面が表示されないときは

カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外してください。カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（152）を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

1コマだけプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□133）、以下の手順でプリントしてください。

1 ◀ または ▶ をタッチしてプリントする画像を選び、OKをタッチする

- スクロールバーをタッチしても、前後の画像を表示できます。
- 🔍をタッチすると12コマ表示に、🔍をタッチすると1コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］をタッチする

3 プリントしたい枚数をタッチする

- 9枚まで指定できます。

4 ［**用紙設定**］をタッチする

5 印刷したい用紙サイズをタッチする

- プリンターが対応している用紙サイズが表示されます（□138）。▲または▼をタッチすると、前後のページを表示します。
- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

6 [**プリント実行**] をタッチする

7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順 1 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは [**キャンセル**] をタッチします。

複数の画像をプリントする

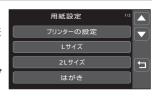
カメラとプリンターを正しく接続してから（□133）、以下の手順でプリントしてください。

1 [**プリント画像選択**] 画面が表示されたら、MENUをタッチする

- [**プリントメニュー**] 画面が表示されます。

2 [**用紙設定**] をタッチする

3 印刷したい用紙サイズをタッチする

- プリンターが対応している用紙サイズが表示されます（□138）。▲または▼をタッチすると、前後のページを表示します。
- プリンターの設定を優先したいときは、[**プリンターの設定**] を選びます。

4 ［プリント選択］、［全画像プリント］または［DPOFプリント］をタッチする

プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- プリントしたい画像をタッチして選び、▲ または ▼ をタッチしてプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- をタッチすると 1 コマ表示に、 をタッチすると 12 コマ表示に切り換わります。
- RESET をタッチすると、すべての画像の選択を解除します。
- 設定が終了したら OK をタッチします。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］をタッチすると、プリントメニューに戻ります。

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］をタッチすると、プリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

［**プリント指定**］（□101）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。
- ［**画像の確認**］をタッチすると、どの画像をプリント指定したか確認できます。OK をタッチすると、画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは［**キャンセル**］をタッチします。

プリント中の枚数/総枚数

用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L サイズ**］、［**2L サイズ**］、［**はがき**］、［**100×150 mm**］、［**4×6 in.**］、［**8×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3 サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

セットアップメニューで基本設定を変える

セットアップメニューで、以下の設定ができます。

HOME画面デザイン	📖141
HOME画面のデザインを選べます。	
オープニング画面	📖142
電源をONにしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	
日時設定	📖143
内蔵時計を合わせます。	
モニター設定	📖146
撮影後の画像表示や画面の明るさを設定します。	
デート写し込み	📖146
撮影日時を画像に写し込む設定をします。	
手ブレ補正	📖147
撮影時の手ブレ補正を設定します。	
AF補助光	📖148
AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	
電子ズーム	📖148
電子ズームの動作を設定します。	
操作音	📖149
操作音について設定します。	
オートパワーオフ	📖149
待機状態に入るまでの時間を設定します。	
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	📖150
内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	
言語/Language	📖151
画面に表示する言語を設定します。	
ビデオ出力	📖151
テレビとの接続に必要な設定をします。	
パソコン接続充電	📖152
USBケーブルでパソコンに接続したときに、バッテリーを充電するかどうかを設定します。	
目つぶり検出設定	📖153
顔認識撮影（📖28）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。	
設定クリアー	📖154
各種設定を初期状態に戻します。	
画像コピー	📖156
内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	
バージョン情報	📖157
ファームウェアの情報を表示します。	

セットアップメニューの操作方法

1 撮影時または再生時に🏠をタッチする

- HOME画面に切り換わります。

2 ［**Set up**］アイコンをタッチする

- セットアップメニューが表示されます。

3 設定したいメニューをタッチする

- ▲または▼をタッチすると、前後のページを表示します。
- ⏎をタッチすると、ひとつ前の画面に戻ります。
- OKが表示される画面では、OKをタッチすると設定が有効になります。
- セットアップメニューを終了するには、🏠をタッチしてHOME画面を表示し、撮影モードや再生モードのアイコンを選んでタッチします（📖14）。

セットアップメニューのヘルプの表示方法について

セットアップメニューの画面で?をタッチすると、［**ヘルプ選択**］画面になります。項目をタッチすると、それぞれの項目の説明（ヘルプ）を表示します。

ヘルプ表示画面で⏎をタッチすると、［**ヘルプ選択**］画面に戻ります。
［**ヘルプ選択**］画面で⏎をタッチすると、セットアップメニューの画面に戻ります。

HOME画面デザイン

[HOME]をタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ HOME画面デザイン

HOME画面のデザインを設定します。

マイフォト

内蔵メモリー/SDカードの画像を、HOME画面の背景として登録できます。
［**画像の選択**］画面で画像を選び、[OK] をタッチします。

- ［**画像の選択**］画面で [拡大] をタッチすると 1 コマ表示に、[縮小] をタッチすると 12 コマ表示に切り換わります。
- 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、HOME 画面に残ります。
- トリミング（□121）やスモールピクチャー（□117）で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。

グラフィック（初期設定）

クラフト

オープニング画面

🏠をタッチする ➔ セットアップメニュー（📖140）➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときにモニターに表示するオープニング画面を設定します。

なし（初期設定）

オープニング画面を表示しません。

COOLPIX

オープニング画面を表示します。

撮影した画像

内蔵メモリー/SDカードの画像を、オープニング画面として登録できます。[**画像の選択**] 画面で画像を選び、OK をタッチします。

- [**画像の選択**] 画面で 🔍 をタッチすると 1 コマ表示に、🔍 をタッチすると 12 コマ表示に切り換わります。
- 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。
- トリミング（📖121）やスモールピクチャー（📖117）で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。

日時設定

HOMEをタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ 日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。

日時

内蔵時計の日付と時刻を設定します。
設定画面を表示したら、「表示言語と日時を設定する」の手順5以降（□23）と同様に設定します。

タイムゾーン

自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先のタイムゾーン（✈）を登録すると、自宅（⌂）との時差（□145）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 ［**タイムゾーン**］をタッチする

- ［**タイムゾーン**］画面が表示されます。

2 ［**訪問先**］をタッチする

- 訪問先の時計に切り換わります。

3 🌐をタッチする

- ［**訪問先の設定**］画面が表示されます。

4 ◀または▶をタッチして訪問先の地域（タイムゾーン）を選び、OKをタッチする

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、をタッチして夏時間の設定をオンにします。画面上部にが表示され、時計が1時間進みます。をタッチするたびに、オンとオフが切り換わります。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面にマークが表示されます。

バックアップ用電池について

カメラの内蔵時計は、カメラのバッテリーとは別のバックアップ用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるかACアダプターを接続すると、バックアップ用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で［**自宅**］をタッチしてください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順 2 で［**自宅**］をタッチして、［**訪問先**］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

日付を画像に写し込むには

日時を設定した後に、撮影時の画面から設定するか（📖74）、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（📖146）で設定します。［**デート写し込み**］を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

タイムゾーンについて（□22）

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時設定**］で合わせてください。

時差 +/−	タイムゾーン
−20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）
−19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）
−18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）
−17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）
−16	MST (MDT): Denver, Phoenix（デンバー、フェニックス）
−15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）
−14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）
−13	Caracas, Manaus（カラカス、マナウス）
−12	Buenos Aires, Sao Paulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）
−11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）
−10	Azores（アゾレス）
−9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）

時差 +/−	タイムゾーン
−8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
−7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
−6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
−5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
−4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
−3.5	New Delhi（ニューデリー）
−3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
−2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
−1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

⌂をタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ モニター設定

撮影後の画像表示や、画面の明るさを設定します。

撮影後の画像表示

- ［**ON**］（初期設定）：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。
- ［**OFF**］：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。

画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

モニターの自動ブーストについて

晴天の屋外などの明るい場所では、モニターを見やすくするため、自動的に画面が明るくなります（［**画面の明るさ**］が［**4**］以下の場合）。

デート写し込み

⌂をタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（□103）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

年・月・日

画像に日付を写し込みます。

年・月・日・時刻

画像に日付と時刻を写し込みます。

「デート写し込み」は、撮影時の画面からも設定できます。「デート写し込み」について、詳しくは「DATE　日時を画像に写し込む（デート写し込み）」（□74）をご覧ください。

手ブレ補正

🏠をタッチする ➔ セットアップメニュー（📖140）➔ 手ブレ補正

撮影するときの手ブレ補正を設定します。
手ブレ補正機能は、望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを効果的に補正します。静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。
三脚などでカメラを固定させて撮影するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。

ON（ハイブリッド）

レンズシフト方式で手ブレを光学的に補正し、さらに静止画撮影時に以下の条件になると、画像処理による電子式手ブレ補正を加えて記録します。
- フラッシュを発光しないとき
- シャッタースピードが 1/60 秒より低速のとき
- ⏲［**セルフタイマー**］が OFF のとき
- 🔲［**連写**］の設定が S［**単写**］のとき
- ISO 感度が 200 以下のとき

ON（初期設定）

レンズシフト方式で手ブレを補正します。

OFF

手ブレを補正しません。

手ブレ補正の設定は、撮影時の画面（情報ON時）で確認できます（📖11、27）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

✔ 手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後にモニターの画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- ブレが極端に小さいときや大きいときは、［**ON（ハイブリッド）**］に設定しても電子式手ブレ補正で画像補正できないことがあります。
- シャッタースピードが速いとき、または極端に遅いときは、［**ON（ハイブリッド）**］に設定しても電子式手ブレ補正は作動しません。
- ［**デート写し込み**］（📖74、146）と［**手ブレ補正**］の［**ON（ハイブリッド）**］は同時に使えません。［**手ブレ補正**］を［**ON（ハイブリッド）**］にして撮影するときは、デート写し込みは［**OFF**］になります。
- ［**ON（ハイブリッド）**］で電子式手ブレ補正が作動するときは、撮影すると自動的にシャッターを2回きって画像補正をするため、通常よりも画像の記録に時間がかかります。［**シャッター音**］（📖149）が鳴るのは1回目のみです。記録する画像は1コマです。

AF補助光

🏠をタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ AF補助光

AF補助光の点灯/非点灯を設定します。

AUTO（初期設定）

暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、約5 mです。ただし、［**AUTO**］に設定していても、一部のシーンモードではAF補助光が点灯しません（□39）。

OFF

AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがありますので、ご注意ください。

電子ズーム

🏠をタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

ON（初期設定）

光学ズームが最も望遠側にある状態でTをタッチすると、電子ズーム（□29）が作動します。

OFF

電子ズームは作動しません（動画撮影時を除く）。

☑ 電子ズームについてのご注意

- 電子ズームの作動中はAFエリアが中央に固定されます（□29）。
- 以下の場合は電子ズームが使えません。
  - シーンモードが[**ポートレート**]または[**夜景ポートレート**]のとき
  - 笑顔自動シャッターで撮影するとき
  - タッチ撮影が[**ターゲット追尾**]のとき
  - [**連写**]の設定が[**マルチ連写**]のとき
  - 動画の撮影開始前（動画撮影中は2倍まで作動）

操作音

HOMEをタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ 操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

オートパワーオフ

HOMEをタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラは電池の消耗を抑えるためにモニターを消灯し、待機状態（□21）に入ります。
待機状態になると、電源ランプが点滅します。
このメニューでは、カメラが無操作時に待機状態に入るまでの時間を［**30 秒**］、［**1 分**］（初期設定）、［**5 分**］、［**30 分**］から選べます。
シャッターボタンを押すと、待機状態を解除できます。

オートパワーオフについてのご注意

以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。
- HOME画面、セットアップメニュー表示中：3分
- スライドショー再生中：最大30分
- ACアダプター接続中：30分（テレビに接続しているときは、オートパワーオフは作動しません。）

ACアダプター接続時のご注意

- 別売のACアダプター EH-62F（□158）を接続したときは、無操作のまま［**オートパワーオフ**］で設定した時間が経過すると、スクリーンセーバーが作動してモニターの焼き付きを抑えます。無操作のまま30分経つと、モニターが消灯します。復帰させるときは、シャッターボタンを押します。
- ［**オートパワーオフ**］を［**30分**］に設定すると、スクリーンセーバーは作動しません。
- スクリーンセーバーの内容は、スライドショー（□98）でDEMOをタッチしたときの表示と同じです（BGMはつきません）。
- テレビまたはプリンターに接続しているときは、無操作状態が続いても、スクリーンセーバーは作動しません。モニターも消灯しません。

メモリー /カードの初期化（フォーマット）

HOMEをタッチする ➔ セットアップメニュー(📖140) ➔ メモリー/カードの初期化(フォーマット)

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

初期化についてのご注意

- **内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。**必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。
- 内蔵メモリー /SDカードを初期化すると、お気に入りフォルダーのアイコン設定（📖79）は初期設定（数字アイコン）に戻ります。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー /SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

をタッチする ➔ セットアップメニュー（140）➔ 言語/Language

画面に表示される言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

ビデオ出力

をタッチする ➔ セットアップメニュー（140）➔ ビデオ出力

テレビとの接続に必要な設定を行います。
ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

パソコン接続充電

🏠をタッチする ➔ セットアップメニュー（📖140）➔ パソコン接続充電

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続したときに、カメラ内のバッテリーを充電するかどうかを設定します（📖131）。

AUTO（初期設定）

カメラを起動済みのパソコンに接続したときに、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。

OFF

カメラをパソコンに接続しても、カメラ内のバッテリーを充電しません。

カメラとプリンターを接続してプリントするときのご注意

- カメラをPictBridge対応プリンターに接続しても、バッテリーの充電はできません。
- プリンターによっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］にするとプリントできない場合があります。プリンターに接続して電源をONにしてもカメラにPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

目つぶり検出設定

[HOME]をタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ 目つぶり検出設定

顔認識撮影（□28）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

ON

顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。
目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。

OFF（初期設定）

目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

［**目つぶり確認**］画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	アイコン	内容
検出した顔を拡大表示する	[拡大]	[拡大]をタッチします。 複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に[◀]または[▶]をタッチすると、拡大表示する顔が切り換わります。[縮小]をタッチすると、［**目つぶり確認**］画面に戻ります。
撮影した画像を削除する	[削除]	[削除]をタッチします。
撮影画面に戻る	OK	モニターにタッチするか、OKをタッチします。 シャッターボタンを押しても撮影画面に戻ります。

目つぶり検出設定についてのご注意

以下の場合は目つぶり検出しません。
- [笑顔]［**笑顔自動シャッター**］がONのとき
- [連写]［**連写**］の設定が[連写]［**連写**］、BSS［**BSS**］または[マルチ連写]［**マルチ連写**］のとき

設定クリアー

🏠をタッチする ➔ セットアップメニュー（📖140）➔ 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の設定

項目	初期設定
タッチ撮影（📖51、53、56）	タッチシャッター
セルフタイマー（📖58）	OFF
フラッシュ（📖62）	AUTO 自動発光
画像モード（📖64）	16:9（3968）
笑顔自動シャッター（📖60）	OFF
露出補正（📖66）	0.0
マクロ（📖67）	OFF
連写（📖68）	S 単写
ホワイトバランス（📖70）	AUTO
ISO感度設定（📖73）	AUTO
デート写し込み（📖74）	OFF
シーンモードのシーン選択（📖38）	ポートレート
シーンエフェクト調整（📖39）	中央

動画の設定

項目	初期設定
動画設定（📖123）	TV再生640★
AFモード（📖124）	シングルAF
マクロ（📖124）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
HOME画面デザイン（□141）	グラフィック
オープニング画面（□142）	なし
撮影後の画像表示（□146）	ON
画面の明るさ（□146）	3
デート写し込み（□146）	OFF
手ブレ補正（□147）	ON
AF補助光（□148）	AUTO
電子ズーム（□148）	ON
設定音（□149）	ON
シャッター音（□149）	ON
オートパワーオフ（□149）	1分
パソコン接続充電（□152）	AUTO
目つぶり検出設定（□153）	OFF

その他

項目	初期設定
情報表示の切り換え（□8）	情報OFF
用紙設定（□135、136）	プリンターの設定

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（□159）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー/SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を0001に戻したいときは、内蔵メモリー/SDカード内の画像をすべて削除（□95）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影の設定：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（□72）
  セットアップメニュー：
  ［**HOME画面デザイン**］の［**マイフォト**］で登録した画像（□141）、オープニング画面として登録した画像（□142）、［**日時設定**］（□143）、［**言語/Language**］（□151）、［**ビデオ出力**］（□151）

画像コピー

HOMEをタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 コピーする方向をタッチする

- IN➔□：内蔵メモリーから SD カードへコピーします。
- □➔IN：SDカードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法をタッチする

- ［**選択画像コピー**］：画像を選んでコピーします。→手順3へ
- ［**全画像コピー**］：すべての画像をコピーします。確認画面が表示されたら、［**はい**］をタッチしてください。画像がコピーされます。［**いいえ**］をタッチすると、コピーせずにセットアップメニューに戻ります。

3 コピーしたい画像をタッチする

- 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- ⊕をタッチすると1コマ表示に、⊖をタッチすると12コマ表示に切り換わります。

4 OKをタッチする

- 確認画面が表示されたら、［**はい**］をタッチしてください。画像がコピーされます。［**いいえ**］をタッチすると、コピーせずにセットアップメニューに戻ります。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、AVI、WAV です。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」（□107）も画像と同時にコピーします。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（□101）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（□99）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。
- 内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像は、オート分類再生モード（□84）で表示できません。
- お気に入り登録（□80）した画像をコピーしても、お気に入り登録の登録内容はコピーされません。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されます。HOME画面に切り換えてセットアップメニューを表示させ、［**画像コピー**］を選ぶと、内蔵メモリーの画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□159

バージョン情報

HOMEをタッチする ➔ セットアップメニュー（□140）➔ バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

バージョン情報

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12
充電器	バッテリーチャージャー MH-65P※1
本体充電 ACアダプター	本体充電ACアダプター EH-68P※1
ACアダプター	ACアダプター EH-62F※2 ＜EH-62Fの取り付け方＞ バッテリー/SDカードカバーを閉める前に、ACアダプターのコードがACアダプターとバッテリー室の溝に正しく入っていることを必ず確認してください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーを破損する恐れがあります。
USBケーブル	USBケーブル UC-E6
AVケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。
※2 日本国内専用（AC 100 V対応）の電源コード付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

推奨SDカード

以下のSDカードの動作を確認しています。

- 以下の容量のSDカードであれば、内部データ転送速度にかかわらず使用できます。

SanDisk	512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、16 GB※2
TOSHIBA	512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、16 GB※2
Panasonic	512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、16 GB※2
Lexar	1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2

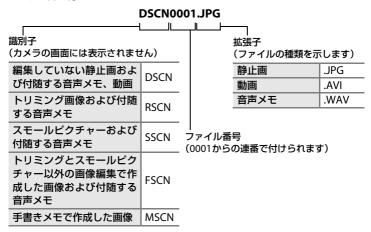
※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。
※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。
最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声ファイルには、以下のようなファイル名が付けられます。

識別子	
編集していない静止画および付随する音声メモ、動画	DSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
スモールピクチャーおよび付随する音声メモ	SSCN
トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像および付随する音声メモ	FSCN
手書きメモで作成した画像	MSCN

拡張子	
静止画	.JPG
動画	.AVI
音声メモ	.WAV

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋ NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。
- パノラマアシストモード（□46）では、撮影のたびに「フォルダー番号＋P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- 内蔵メモリーとSDカードの間でコピーする場合（□156）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」：使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」：データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化（□150）してください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50 ℃以上、または－10 ℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● モニターについて

- モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 有機 EL モニターの特性上、同じ表示を長時間続けたり、くり返したりするとモニターの焼き付きが発生し、部分的に明るさが落ちたり、色ムラが現れたりすることがあります。また、長期間使い続けると焼き付きが戻らなくなることがあります。
  モニターの焼き付きは、記録される画像には影響はありません。
  焼き付きを抑えるには、モニターの明るさを必要以上に上げたままにしたり、同じ表示を極端に長く続けたりしないことをおすすめします。
- 屋外では日差しの加減でモニターが見えにくいことがあります。
- モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。モニターの故障やトラブルの原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。この現象は、撮像素子に強い光が入ったときに発生し、「スミア」といいます。撮像素子の特性による現象で故障ではありません。また、スミアの影響でモニターに色ムラが現れることもあります。
マルチ連写と動画以外の撮影では、記録される画像にスミアの影響はありません。
マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

バッテリーについて

● 使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が 0 ～ 40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 周囲の温度が 5～35 ℃ の室内で充電してください。
- COOLPIX S70を本体充電ACアダプター EH-68Pまたはパソコンに接続して充電する場合、バッテリーの温度が45～60 ℃のときは、充電できる容量が少なくなることがあります。
- バッテリーの温度が0 ℃以下、60 ℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● 低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが作動しないことがあります。低温時の撮影には充分に充電したバッテリーと予備のバッテリーを用意してください。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがありますので、ご注意ください。汚れた接点は、乾いた布できれいに拭いてからお使いください。

● 残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- バッテリーをお使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15～25 ℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● 寿命について

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	📖
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	143
	バッテリーの残量が少なくなりました。	バッテリーの充電や交換の準備をしてください。	16
電池残量が ありません	バッテリーの残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	16
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。	電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後にモニターが消灯し、電源ランプとフラッシュランプが同時に高速点滅を開始します。	18
AF● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • フォーカスロック撮影をお試しください。	30、31 55
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。画像の記録中は、バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。	–
カードがロック されています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	25
このカードは 使えません カードに異常が あります	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	158 24 24
このカードは 初期化されて いません。 初期化しますか？ はい　いいえ	SDカードが、COOLPIX S70用に初期化されていません。	初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、［**いいえ**］を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。［**はい**］を選ぶと、SDカードを初期化できます。	25

表示	意味	対処法	
メモリー残量 がありません	データを記録する空き容量がありません。	・画像モードを変更してください。 ・不要な画像を削除してください。 ・SD カードを交換してください。 ・SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	64 32、95、125 24 24
画像を保存 できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	150
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	・SD カードを交換してください。 ・内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	24 150
	HOME画面やオープニング画面に登録できない画像です。	・トリミングやスモールピクチャーで作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。 ・COOLPIX S70 以外で撮影した画像は登録できません。	117、121 –
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	156
これ以上、お気に入り登録 できません	お気に入りフォルダーの登録画像数が 200 コマを超えました。	・画像のお気に入り登録を解除してください。 ・別のお気に入りフォルダーに登録してください。	82 80
この画像は編集 できません	編集できない画像を編集しようとしました。	画像編集が可能な条件を確認してください。	109
動画記録 できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	158

表示	意味	対処法	
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	• 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリーからSDカードに画像をコピーする場合は、HOME画面からセットアップメニューを表示すると、［**画像コピー**］が選べます。	24 156
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。	画像が分類された項目を選んでください。	86
	オート分類再生モードで再生できる画像がありません。	再生モードまたは撮影日一覧モードで再生してください。	87
	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。	• 画像をお気に入りフォルダーに登録してください。 • 画像が登録されたお気に入りフォルダーを選んでください。	80 81
カメラが高温です。電源をOFFします	カメラの内部またはSD カードが高温になっています。自動的にカメラの電源がOFFになります。	カメラの内部またはSDカードの温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	–
このファイルは表示できません	COOLPIX S70以外で作成されたファイルです。	ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
表示できる画像がありません	スライドショーで再生できる画像がありません。	–	–
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	143
レンズバリアーエラー	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	26
ピントが合いません レンズを初期化中です	ピントが合いません。	自動復帰するまでお待ちください。	–

付録

表示	意味	対処法	📖
ⓘ 通信エラー	プリンターとの通信にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	133
システムエラー ❗	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	16、26
ⓘ プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、[**継続**]をタッチして、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[**継続**]をタッチして、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、[**継続**]をタッチして、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[**継続**]をタッチして、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、[**継続**]をタッチして、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、[**継続**]をタッチして、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	[**キャンセル**]をタッチして、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

付録

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。シャッターボタンを半押ししてください。 • 本体充電 AC アダプターでコンセントに接続しているときは、電源は ON にできません。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。	26 26 21、30 18 128
モニターがよく見えない/暗くなる	• モニターの明るさを調整してください。 • カメラの内部が高温になると、発熱を抑えるため、自動的にモニターが暗くなります。温度が下がると明るさも戻ります。 • モニターの明るさが自動ブーストしているときに、電源ランプが指などで隠れると、モニターが暗くなることがあります。 • モニターが汚れています。	146 — — 160
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • カメラの電源を ON にしたまま、本体充電 AC アダプターを接続すると電源が OFF になります。 • パソコンまたはプリンターとの接続中に USB ケーブルが外れました。USB ケーブルの接続をやり直してください。 • カメラの内部または SD カードが高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。	26 18 128、133 166 162
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない場合は（撮影時に日時未設定マークが点滅している）、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2009/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**日時設定**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	22 143
撮影情報や画像情報が表示されない	INFO をタッチして情報表示を切り換えてください。	146

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
［**デート写し込み**］が選べない	• セットアップメニュー[**日時設定**]が設定されていません。 • デート写し込みが制限される他の機能が設定されています。	22、143 76
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	以下の場合は日付が写し込まれません。 • 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • デート写し込みが制限される他の機能が設定されています。 • 動画	74 75 122
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	144
モニターが消灯し、電源ランプが緑色で高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	21
カメラをパソコンに接続しても、カメラ内のバッテリーを充電できない	• カメラの電源を OFF にすると、バッテリーの充電も中止されます。 • 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源が OFF になることがあります。 • パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。	131 131 131

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	• 再生モードになっているときや、メニューが表示されているときは、シャッターボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	32 26 63
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	31 148 26
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • ISO 感度を上げて撮影してください。 • 手ブレ補正機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	62 73 147 68 58
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。⚡［**フラッシュ**］の設定を⊛［**発光禁止**］にしてください。	62
モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスミアが発生することがあります。マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	162
フラッシュが発光しない	• ⚡［**フラッシュ**］の設定が ⊛［**発光禁止**］になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。	62 39 75
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	122
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 以下の場合は電子ズームが使えません。 - シーンモードが ［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］のとき - タッチ撮影が ［**ターゲット追尾**］のとき - 笑顔自動シャッターのとき - 動画の撮影開始前（撮影中は 2 倍まで作動） - ［**連写**］の設定が ［**マルチ連写**］のとき	148 39、40 56 60 122 68

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
[**画像モード**]が選べない	[**画像モード**]が制限される他の機能が設定されています。	75
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー[**操作音**]の[**シャッター音**]が[**OFF**]になっています。 • [**連写**]の設定が[**連写**]、[**マルチ連写**]または BSS[**BSS**]になっています。 • シーンモードが[**スポーツ**]または[**ミュージアム**]になっています。 • モードになっています。 • スピーカーをふさがないでください。	149 68 40、43 122 4
AF 補助光が発光しない	• セットアップメニュー[**AF 補助光**]が[**OFF**]になっています。 • 一部のシーンモードでは発光しません。	148 39〜44
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	160
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	70
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。 • ノイズ低減機能付きのシーンモードで撮影してください。	 62 73 39〜44
画像が暗すぎる	• [**フラッシュ**]の設定が[**発光禁止**]になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの[**逆光**]にするか、[**フラッシュ**]の設定を[**強制発光**]にしてください。	62 28 62 66 73 44、62
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	66
赤目以外の部分が補正された	(赤目軽減自動発光)や、シーンモードの[**夜景ポートレート**]の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。[**夜景ポートレート**]以外の撮影モードで、[**フラッシュ**]の設定を(赤目軽減自動発光)以外にして撮影してください。	40、62

付録

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。	–
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
音声メモの録音や再生ができない	• 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	125 108
画像編集ができない	• 動画は編集できません。 • 画像編集が可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 • 他のデジタルカメラでは、編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。	125 109 109 109
画像がテレビに映らない	• セットアップメニューの［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • テレビに表示できない画面です。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	151 126 24
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生で表示できない	SD カード内のデータがパソコンで書き換えられると、再生できないことがあります	–
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	• 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 • COOLPIX S70 以外で撮影した画像または［**画像コピー**］でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 • 内蔵メモリー/SDカード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 • 1 つの分類項目で表示できるのは、999 コマまでです。すでに 999 枚登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。	85 156 – 85

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transferが自動起動しない	• バッテリー残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer については、Nikon Transfer のヘルプをご覧ください。	26、128、131 128、131 127 — —
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge 起動画面が表示されない	PictBridge 対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］に設定していると、PictBridge 起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。 ［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にしてプリンターに接続し直してください。	152
プリントする画像が表示されない	画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。	24
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	135、136
プリントした画像の端が削られてしまう	• ［**画像モード**］を ［**16:9（3968）**］（初期設定）にして撮影した画像をプリントすると、画像の端が削られ、画像全体がプリントできないことがあります。縦横比 16：9 の画像にプリンターが対応しているかなど、詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。 • ［**画像モード**］を ［**16:9（3968）**］以外にして撮影してください。	132 64

付録

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S70

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		12.1メガピクセル
撮像素子		1/2.3型原色CCD、総画素数12.39メガピクセル
レンズ		光学5倍ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	5.0-25.0mm（35mm判換算28-140mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.9-5.8
	レンズ構成	9群13枚
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約 560mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		レンズシフト方式と電子式の併用
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• レンズ前約30 cm～∞（広角側）、約50 cm ～∞（望遠側） • マクロモード時は約 3 cm（ズームの広角側）～∞
	AFエリア	顔認識オート、中央、オート（9点）、マニュアル（タッチパネルでAFエリアを選択可能）
モニター		3.5型ワイド有機EL（タッチパネル）、約29万ドット 輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	画像モード［**16:9（3968）**］： 上下約98 %、左右約92 %（対実画面） 画像モード［**16:9（3968）**］以外： 上下左右とも約 98 %（対実画面）
	視野率（再生時）	画像モード［**16:9（3968）**］： 上下約100 %、左右約94 %（対実画面） 画像モード［**16:9（3968）**］以外： 上下左右とも約 100 %（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 20 MB）、SDメモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 動画：AVI（Motion-JPEG準拠） 音声：WAV
画像モード（記録画素数）		• 4000 × 3000［**高画質（4000 ★）/ 標準（4000）**］ • 3264 × 2448［**標準（3264）**］ • 2592 × 1944［**標準（2592）**］ • 2048 × 1536［**エコノミー（2048）**］ • 1024 × 768［**パソコン（1024）**］ • 640 × 480［**TV（640）**］ • 3968 × 2232［**16:9（3968）**］

ISO感度（標準出力感度）	ISO 80、100、200、400、800、1600、3200、6400、オート（ISO 80 ～800）、感度制限オート（ISO 80～200、80～400）
露出	
測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍までのとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
露出連動範囲（ISO 100）	広角側：1.1 ～ 16.9 EV 望遠側：2.2 ～ 18 EV
シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード	1/1500 ～ 2秒、4秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り	電磁駆動によるNDフィルター（－2AV）選択方式
制御段数	2（f/3.9、f/7.8［**広角側**］）
セルフタイマー	約 10秒、約 2秒、笑顔自動シャッター
内蔵フラッシュ	
調光範囲（ISO感度設定オート時）	約 0.3 ～ 3.5 m（広角側） 約 0.5 ～ 2.5 m（望遠側）
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
入出力端子	マルチコネクター端子（USB、AV出力、DC入力）
言語	日本語、英語の2言語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-62F（別売）
充電時間	約4時間（本体充電ACアダプター EH-68P使用時） 約7時間（パソコン接続充電時）残量のない状態からの充電時間
撮影可能コマ数（電池寿命）※	約 200コマ（EN-EL12使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約96.5×60.5×20 mm（突起部除く）
質量	約 140 g（バッテリー、SDメモリーカード除く）
動作環境	
使用温度	0 ～ 40 ℃
使用湿度	85 %以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、リチャージャブルバッテリーEN-EL12をフル充電で使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23（±2）℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード [**16:9（3968）**]です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0 ～ 40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 32×43.8×7.9 mm（突起部除く）
質量	約 22.5 g（端子カバーを除く）

本体充電ACアダプター EH-68P

定格入力	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz、0.065-0.04 A
定格入力容量	6.5-9.6 VA
定格出力	DC 5.0 V、0.5 A
適用充電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12
使用温度	0 ～ 40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×65 mm
質量	約 60 g

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数

ア

カ

付録

付録

マ

ヤ

ラ

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社ホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL:
FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリー容量：　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

携帯OK

0570-02-8000

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 に送信ください。

修理サービスのご案内

インターネットでの修理のお申し込み

下記 URL から「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みができます。宅配便などでお送りいただいた場合などの「修理金額見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/repair/　※インターネットでの修理のお申し込みの場合、送料割引がございます。

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け･修理品のお引き取り、修理後のお届け･集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の配送料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155

営業時間：9：30～18：00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※左記のフリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。

製品に関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターへお願いいたします。

修理に関するお問い合わせは、下記の修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

携帯OK

0570-02-8200

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30～17：30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in Japan
YP9H02(10)
6MM71110-02